

2023 年度 FD 活動報告書



洗足学園音楽大学

目次

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録	3
FD・SD 研修会報告	4
FD 研修会報告	6
各コースの FD 活動の記録	9
シラバスチェック	17
授業に関するアンケート	21
卒業・修了時満足度調査	23
FD 委員会規程	26
大学院 FD 委員会規程	27
資料 1 : FD 研修会 (チラシ)	28
資料 2 : 授業に関するアンケート結果	32
資料 3 : 卒業時満足度調査結果	41
資料 4 : 修了時満足度調査結果	50

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録

2023 年度の FD 委員会と大学院 FD 委員会は、音楽学部と音楽研究科の一体的な教育改善を図る為、一部の会議を合同で実施した。

【学部第 1 回・大学院第 1 回】 2023 年 5 月 25 日（木）

議題：①委員会規程の検証

②委員会 PDCA の検証

③年間スケジュール

④2022 年度後期授業に関するアンケート結果報告

⑤2023 年度授業に関するアンケート実施要領

⑥2022 年度遠隔授業 FD 研修会報告

⑦2023 年度 FD 研修会について

⑧学外 FD 活動情報

【学部第 2 回・大学院第 2 回】2023 年 7 月 20 日（木）

議題：①2022 年度学修行動調査集計結果報告

②2023 年度学修行動調査実施要領

③2023 年度開講科目シラバスチェック報告

④2023 年度 FD 研修会

⑤学外 FD 活動情報

【学部第 3 回・大学院第 3 回】 2023 年 10 月 5 日（木）

議題：①2022 年度卒業時（修了時）満足度調査集計結果報告

②2023 年度卒業時（修了時）満足度調査実施要領

③2022 年度退学率・休学率

④2022 年度 FD 活動報告書

⑤学外 FD 活動情報

【学部第 4 回・大学院第 4 回】 2023 年 12 月 7 日（木）

議題：①2023 シラバスチェック実施要領について

②2023 年度 FD 研修会について

ワークショップ：シラバスチェックをワークショップ形式で実施

FD・SD 研修会報告

【研修テーマ】「音楽ビジネスの DX 音楽×テクノロジーで社会に貢献する」

【研修日程】

- ①2023年8月3日（木）9:30～10:30 対面
- ②2023年8月3日（木）10:40～11:40 対面&オンライン
- ③オンデマンド形式（～2023年9月27日）

【講師】脇田敬（本学教員）

【受講者数（教員のみ）】

専任	非常勤	計
9名	28名	37名

【受講者アンケートより（教員のみ）】 アンケート回答者数：29名

設問1 今回の研修に参加して、良かったと思いますか。

とても良かった	17人	58.6%
良かった	11人	37.9%
あまり良くなかった	0人	0%
良くなかった	1人	3.4%

設問2 研修内容について理解することができましたか。

理解できた	18人	62.1%
どちらかといえば理解できた	11人	37.9%
どちらかといえば理解できなかった	0人	0%
理解できなかった	0人	0%

設問3 今回の研修は研究活動に活用できそうですか。

理解できた	13人	44.8%
どちらかといえば理解できた	12人	41.4%
どちらかといえば理解できなかった	3人	10.3%
理解できなかった	1人	3.4%

設問4 今後、取り上げてほしいテーマがありましたら、お書きください。

- ・演奏家・研究者のためのデジタルコンテンツの具体的な活用方法
- ・対人関係がうまく築けない学生の為に、スマホなどツールを使わない人との関係を構築するための講座

- ・ChatGPT 等生成 AI の音楽大学教育における活用法（音楽大学に特化した事例等）
- ・やる気の波の振れ幅が大きい学生、不安を常に抱えてる学生たちのメンタルをサポートできるような内容の講座（講師たちのディスカッションや、登壇者をお呼びしての講演会など）
- ・映像と音響（メディアアーツコース関連）について
- ・携帯端末等の普及発展に伴う個人の視聴環境の質的低下について考える
- ・やる気の波の振れ幅が大きい学生、不安を常に抱えてる学生たちのメンタルをサポートできるように心がけておりますが、このテーマは割とどの学部の学生たちにも当てはまるので、講師たちのディスカッションや、登壇者をお呼びしての講演会などの企画を希望します
- ・具体的に楽器のプロデュースについてアドバイスなど意見交換したい
- ・今回のような「音楽業界の今」を、実際に関わっている先生からお聞きしたい。音楽業界といってもジャンルは多彩だと思うので、ぜひシリーズ化も期待します！

設問 5 ご意見・ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・概論だったのでより具体的な現実的な話をさせて欲しい。
- ・IT 発達の先に、より人間的な音楽の需要があるだろうというお言葉に、声楽の一教員として希望を持ちました。両者が共存する社会に大きな可能性を感じた。
- ・TikTok は情報漏洩問題があり手を出していなかったのですが、日本としてのセキュリティはどのような対処方法をしていくのか、ミュージックビジネスと著作権保護の観点からの現状やコピーを防ぐ為の取組み方等も、今後学びたいと思った。
- ・学生の人間力が落ちてきている気がします。文章力も参考文献ではなく丸写しが多くなりました。スマホ、パソコン時代の学生のツールに頼らない力をつけることも大切だとある研究所の方との話で話題になりました。
- ・特に、音楽とデジタルコンテンツやプラットフォームに関して歴史的な流れや問題点等が明確になり参考になりました。



FD 研修会報告

【研修テーマ】「音大における教養科目の授業デザイン – 音大生に求められる社会性とは –」

【目的】

- ①遠隔授業の特性を生かしながら教育効果向上につなげる
- ②「授業に関するアンケート」結果を参考に学生による授業評価の高かった科目について、その授業展開方法を紹介する
- ③学生の声を生かすことで「学修者本位の教育」実現につなげる
- ④授業の工夫を広く共有し、全学的な授業改善を図る

【研修日】2024年2月29日（木）11:00～12:10

対面とオンライン（GoogleMeet）を併用

【講師】稲又可奈（本学教員）

【受講者数（教員のみ）】

対面	オンライン	計
18名	33名	51名

【受講者アンケートより（教員のみ）】 アンケート回答者数：29名

設問1 今回の研修に参加して、良かったと思いますか。

とても良かった	25人	86.2%
良かった	4人	13.8%
あまり良くなかった	0人	0%
良くなかった	0人	0%

設問2 研修内容について理解することができましたか。

理解できた	27人	93.1%
どちらかといえば理解できた	2人	6.9%
どちらかといえば理解できなかった	0人	0%
理解できなかった	0人	0%

設問3 今回の研修は研究活動に活用できそうですか。

理解できた	23人	79.3%
どちらかといえば理解できた	6人	20.7%
どちらかといえば理解できなかった	0人	0%

理解できなかった	0人	0%
----------	----	----

設問 4 本日の研修会の感想・質問

- ・ 普段交流の少ない他の講師の先生の手法や工夫について何うのは大変刺激になりました。ご苦労されている部分については身につまされる事も多く、参考になると同時に心強くなりました
- ・ とても素晴らしい内容で、自分がどこかで感じていた事を言語化してくれた様な感じでした。それ以上に、先生の授業の組立て方や対処の仕方がとても勉強になりました。後半の事前アンケートの部分からの研修会もして欲しい位です。ありがとうございました。
- ・ 私達教員の在り方により、授業の構築の仕方などにも活用出来る大変為になる研修でした。ありがとうございました。
- ・ 学生に対する細やかなご対応等、非常に興味深く拝聴させていただきました。活用できそうなことから、自分の担当授業で役立てていきたいと思えます。有難うございました。
- ・ 細やかな工夫をされており、是非とも活用させて頂きたいと思った
- ・ 本日の研修会、ありがとうございました。学生一人ひとりへの配慮、とても勉強になりました。学生の前向きな姿勢を引き出すためにコミュニケーションの必要性があげられていましたが、全く同感で、なるべく生徒同士の関わりを持たせられるよう、さらに取り入れていきたいと思えます。本日の研修内容を今後の授業設計に活用させていただきたく存じます。
- ・ 学生へのリマインドは本意ではないがしている…というお話しが大学という場での授業（私の場合ではレッスンなどですが）の難しい部分として同じ様に感じる場所がありました。本来、自主的に学んでいく場ではありますが、その刺激になりうる存在であるよう精進していこうと、本日の研修でお話しのあった様々な工夫を伺い、改めて思いました。ありがとうございました。
- ・ 都合で途中からの参加となりましたが、配付資料を見て、とても興味深い内容でした。音楽教育と社会性というような観点からも研究課題にもなると感じました
- ・ 学生が何をどのように学んでいるかを知ることは、関係性を円滑にする、重要な要素だと認識しました。
- ・ この度は、大変役に立つ研修に参加できまして、ありがとうございました。
- ・ 実際の事例をあげながら、具体的でわかりやすくご講演くださり、とても勉強になりました。
- ・ 話しきれなかった内容については、次年度に開催していただけるとありがたいです。
- ・ とても丁寧な報告でとても勉強になりました。もっといろいろな対応を丁寧に実施していきたいという気持ちになりました。
- ・ 今回のような機会を設けて頂きましてありがとうございました。フィードバックのご連絡が大変遅くなりまして、失礼しました。
- ・ 本日の講演をお伺いし、他の先生方の実践例もお聞きしたいと思うようになりました。それぞれの先生方は、それぞれの授業・レッスン実践の中で、試行錯誤を繰り返しながら、方法論を見出していると思われるので、その実践例を学ぶことはとても有意義なことではないかと思えます。とても有意義なFD研修会を実施していただいた、稲又先生やFD委員会委員長の先生方に対して、感謝申し上げます。

- ・ 音楽を学ぶ学生にとっても音楽スキルとビジネススキル・コミュニケーションスキルは車の両輪であることを再認識しました。個性や表現力を追求する音大生にとっても社会性が求められるということを学生にも理解してもらうことが大切だと感じました。
- ・ 学生への対応方法や考え方がとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 稲又先生の授業デザインの徹底ぶりに感服いたしました。ポリシーや根拠に基づいた仕組みづくりなど、職員としての業務の進め方にも役立つと思います。

設問 5 今後取り上げてほしいテーマ

- ・ アクティブラーニング、ワークショップについて取り上げていただければと思います
- ・ 音楽業界 就職活動のポイントや情報
- ・ 学生の行動変容をどのように引き出すか、成功事例など
- ・ エクセル研修なども行ってほしいです
- ・ 2022 年度のハラスメント防止研修会での「ペップトーク」などは、FD 研修にも有効なのではないかと思います。
- ・ コミュニケーション講座
- ・ 授業力を上げていくテーマはとても大切な内容だと思います。引き続き、いろいろな先生の実践やお考えを伺えたらうれしいです。
- ・ 音大生が卒業して実社会に入る時に皆さんそれぞれ持ってました精神的なインターフェースを切り替える必要があるのは必須で、その時のために使用できるステップをどの様に伝えるのかいつも考えておりましたので、今回の様な内容は大変勉強になりました。今後も今回の内容に近いものだと、嬉しいです。卒業生と洗足学園の先生がお話しして頂くものいいかもです。
- ・ 今回のような、音楽の実技を伴わない授業に関する実践例の共有。研究・社会貢献をテーマとしたもの。
- ・ 音楽大学における研究について

各コースの FD 活動の記録

報告月	コース	活動内容
5月	作曲	5月1日：作曲理論部会の管弦楽分科会を実施した。同一のシラバスで複数クラスで運営する「管弦楽概論」について、各クラスでの授業内容や目標を一致させるための工夫について話し合った。授業内で行う小テストや期末試験を共通化することで授業の方向性をすり合わせることで、そして学生がどのクラスにいても同様のことを学ぶことができるという安心感、満足感を高めることが目的である。本分科会では、近日中に使用する小テストの内容を検討することもできた。
5月	ピアノ	4月3日：ピアノコース全体教員説明会（オンライン併用）を開催し、ピアノコースの現状や課題、今年度のイベントや実技試験などについて、幅広く情報共有と確認を行った。 4月19日：ピアノ部会において、今年度の海外教員オンラインレッスン、各種オーディションについて、内容の検討を行い、幅広く意見交換と情報共有を行った。
5月	打楽器	前期実技試験について年間スケジュールを鑑みて日程を決定し、内容について協議しました。 大学院全体で規定の見直しが行われた事に伴い、演奏時間、内容について協議し変更をしました。 コロナ禍で開催できなかった海外在住講師によるマスタークラスを開催する事になりました。
5月	ジャズ&アメリカンミュージック	■ 2023/4/3,5,6,9,12,16,18,22 の各日程において AP&副 AP&AA のオンライン会議を実施いたしました。内容は、各学生にとっての有効な履修登録について、レッスンのあり方について等です。
5月	声楽	・4/8 企画運営 Web 会議 新年度授業について、教員全体会議・FD 会準備 ・4/9 ポピュラークラス新年度会議 前期の予定について ・4/15 声楽コース教員全体会議・FD 会 Google Meet による Web 会議 新年度の報告
5月	ミュージカル	2023年4月17日 担当教員会議：コース各演奏会について、外部活動、出演不可学生に対し、授業内でのケアの仕方、指導内容について協議を行った。
5月	バレエ	AP、AA 担当教員会議 新入生の状況を報告し合った。前期公演に向け、実力診断のクラスレッスンを実施する。コロナ感染対策における床の除菌を通常の掃除に変更していくべく、ダンスコースとともに検討する。
5月	声優アニメソング	2023年4月3日 新しい授業体制また授業課題について確認した。 2023年4月5日 コース AA 新入学生履修についての問題点について話し合った。 2023年4月7日 コース部会 23年度の授業運営について協議した。
5月	ダンス	2023年4月30日コース AP・AA 会議：新年度の学生の様子を報告・共有し、今後の学生指導の方針・方法について意見交換を行った。また、日頃の業務や授業改善、授業成果発表公演や社会連携となるイベントへの参加の方針等を検討し、情報交換・意見交換を行った。
5月	音楽環境創造	2023年4月17日新任教員とレッスンや授業の進め方について面談をした。コースの方針やレッスンの実施方法について共有することができた。

6月	ピアノ	5月18日：ピアノコース部門運営会議において、コース運営状況、授業実施における諸状況について情報を共有し、課題について検討・討議を行った。 5月18日、20日：ピアノ部会において、コースイベント、特別レッスンなどについて討議し、また幅広く情報確認と意見交換も同時に行った。
6月	打楽器	大学院のオーディションや試験など評価に関する事に、なるべく多くの教員が関われるように情報の共有と方針を確認しました。
6月	ジャズ&アメリカンミュージック	■2023/5/22 AP&副 AP&AA によるオンライン会議を行いました。内容はドラム実技試験の内容変更について、ベースの試験内容について、アンサンブル・シラバスについて他です。
6月	現代邦楽	今年度は、新任教員が合奏授業等の指導に加わることになったので、共通認識の構築やそれに基づく指導法の要点の確認を、土曜日の合奏授業のたびに行なっている。
6月	声楽	・5/11 2023年度第1回声楽部門運営会議 eキューブ5階会議室 新年度各授業の報告、履修について
6月	声優アニメソング	2023年5月16日 コース内教員 授業を充実させるため、授業内のオペレーター学生の育成と需要に関しての協議をし、情報共有した。
6月	ダンス	2023年5月11日 コース専任会議：学生の様子について情報を共有し、授業進行の問題点及び改善点についての意見交換と内容の検討を行った。 2023年5月24日 コースAP・AA会議：AAが必修科目・選択科目の授業見学をしたうえで、改善点を検討し意見交換を行った。また、各担当学生の出欠状況等を報告・共有し、今後の学生指導の方針・方法についてと、必修科目の成果発表である前期公演について意見交換を行った。
6月	音楽環境創造	5月12日 専任講師によるオンラインミーティングを開催。コース企画演奏会、新年度の学生の動向について意見交換が行われた。今年度の新入生対応の反省点を、次年度に活かせるように整備を開始した。
7月	作曲	作曲理論部会のソルフェージュI～IVの担当教員（15名）に対して、一斉通知のメールを用いて「新曲視唱試験」の在り方や実施方法について議論を行った。（6月21日～7月3日）
7月	ピアノ	5月13日、26日：ピアノ部会において、学内コンクール、特別レッスンなどのイベント等について討議し、方針を確認決定した。 また、コース運営について幅広く情報共有と意見交換を同時に行った。
7月	打楽器	大学院試験の評価基準について協議し、より具体的に共通の認識を定めました。海外講師によるマスタークラス開催について、スケジュール、内容が適正であるかを担当教員にて検討しました。
7月	現代邦楽	今年度は、合奏未経験の新入生が多いため、毎週土曜日の合奏授業の現場で、合奏指導にあたっての指導法や留意点などのブラッシュアップを、出講教員で継続的におこなっている。
7月	声楽	7/6 2023年度第2回声楽部門運営会議 各授業の報告、履修について
7月	声優アニメソング	2023年6月29日 専任教員会議 学生と教員との関係について話し合い情報共有を行なった。
7月	ワールドミュージック	4月5日アカデミックアドバイザーと今年度の学生の履修状況の意見交換。今後の学修サポートの方法について打ち合わせを行う。 5月5日ギター客員教授による特別授業終了後、教員との意見交換。実技レベル向上に必要な授業内容の検証を行う

		<p>6月1日コースの定例演奏会（ワールドミュージックコースサマーコンサート）に向けて、授業担当教員、演奏会コーディネーター、学生インペラと打ち合わせを行う。学生の率直な意見を授業、演奏会に反映させるべく話し合いを行う。</p> <p>6月26日アカデミックアドバイザーと学生生活に関する意見交換および今後の対応の確認</p>
7月	音楽環境創造	<p>6月23日 AAの先生方に、後期レッスン担当教員の変更方法について確認した。また、4年生の学生を担当されている場合は、進路の確認をお願いした。</p>
9月	作曲	<p>8月3日に作曲理論部の「ソルフェージュ分科会」を開催した。ソルフェージュⅠ～Ⅳの成績を決定、そして後期ソルフェージュのクラス分けについて連絡した。また、ソルフェージュクラス分け試験の分析結果を示し、現在の本学学生の状況について伝え、教育方法のあり方を考えるきっかけとした。参加教員は14名。</p> <p>同日、作曲理論部の「総会」を開催し、音楽分析基礎講座や和声学の成績を決定した。総会ではソルフェージュクラス分け試験の分析結果に加え、楽典実力試験の結果推移も示して、本学の状況を説明した。また、社会が大きく変わっている例などを示して、今後のソルフェージュや和声学など音楽の基礎教育の在り方を考えるきっかけとした。参加教員は24名。</p>
9月	ピアノ	<p>7月6日：ピアノコース部門運営会議開催。前期のコースイベント、特別レッスンなどについて、幅広く情報共有を行うとともに、募集対策についても意見交換を行った。</p> <p>7月6日：ピアノ部会において、後期の学内コンクール、特別レッスンなどのイベント等について討議を行い、内容等を確認決定した。</p> <p>また、コース運営について幅広く情報共有と意見交換を同時に行った。</p>
9月	電子オルガン	<p>2023年7月18日 第30回電子オルガンコース定期演奏会の出演者オーディションを実施。EOコース教員全員の審査により出演者を決定した。</p>
9月	打楽器	<p>前期終了前に複数回の盗難があり、また練習室や共有スペースの使用状況が煩雑な状態にあった。状況を教員で共有し、学生には注意喚起を行った。</p> <p>大学院オーケストラの乗り番の方針について担当教員で話し合いを持った。</p>
9月	ジャズ&アメリカンミュージック	<p>■2023/7/12&14&26, 8/1 AP&副 AP&AA オンライン会議を実施いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の学生の修学問題についての意見交換、対応方針についての話し合いを行いました。 ・副科実技、転コース等への対応、指導についての意見交換等を行いました。 ・後期アドバイジングの取組みや学生対応について意見交換を行い、詳細等について確認をしました。
9月	声楽	<p>・8/15 コーラスアンサンブルクラス/ポピュラークラス授業担当教員による会議 ポップスコンサートについての詳細、オーディション実施について</p>
9月	ミュージカル	<p>2023年7月19日 コース専任教員会議：前期公演をほぼ終えようとしているこの時期に今後の公演の在り方、指導方針などの見直し、新たな方針を検討した。</p>
9月	バレエ	<p>2023年9月1日 AP, AA 教員会議：ハラスメント委員会による「ハラスメント防止チェックシート」共通項目に付け加えるバレエコースのチェック項目作成に関して、意見交換を行った。</p>
9月	声優アニメソング	<p>8/26 専任会議 障がい学生の受け入れに関する問題点について協議した。</p> <p>8/24 コース内会議 今年度の実技試験の日程・実施方法について協議した。</p>

9月	ダンス	2023年8月6日 コースAP・AA会議：前期の学生の様子を報告・共有し、後期に向けて学生指導の方針・方法について意見交換を行った。また、授業の改善点、授業成果発表公演や社会連携となるイベントへの参加の方針等を検討し、情報交換・意見交換を行った。
9月	ワールドミュージック	8月4日 WM概論担当者会議 前期の成績評価、履修学生の修学状況に関する意見交換を行った。また、後期のWM演奏論の授業の方向性を検討した。
9月	音楽環境創造	2023年8月21日～8月31日 各AAからの学生面談のフィードバックを頂いた。特に4年生に関しては、就職活動についての状況を確認頂き、データとしてまとめて頂いた。
10月	ピアノ	9月21日：ピアノコース部門運営会議開催。後期のコースイベント、特別レッスンなどについて、コース授業等について幅広く情報共有を行うとともに、募集対策についても意見交換を行った。 9月21日：ピアノ部会において、学内コンクール、オープンキャンパスなどイベント等について討議を行い、内容等を確認決定した。 また、コース運営について幅広く情報共有と意見交換を行った。
10月	弦楽器	4月からの前期期間において練習室や共有スペースの使用状況の問題点をコース全教員で共有し、学生とミーティングの機会を設け使用状況の改善に向けて注意喚起をしました。
10月	ジャズ&アメリカンミュージック	■ 2023/9/19 AP&副AP&AAによるオンライン会議にて、後期開始にあたり授業等での問題点のチェック、クラスミーティング運営に関する連絡事項等について話し合いました。
10月	現代邦楽	①必ずしもソルフェージュ早期教育が浸透していない国からの留学生に散見される合奏時の音程の不安定さの問題（邦楽器の場合は特に音程のコントロールが難しい面がある）に対処するための、指導法の確立が急務となっている。 ②現代邦楽研究所は来年度に（本学園の創立100周年と同時に）30期目（本学に移管されてからは20期目）を迎える。これを機に、各講座の設定や受講制度の見直しなどの必要性を感じている。 ■ これらの事柄を検討するための大部会を、今年中に行う予定。それまでの間に、指導陣それぞれが自分なりの検討を進めておくように、目下、共通認識を構築している。
10月	声楽	・9/22 ハリウッド式ボイストレーナーの桜田ヒロキ氏、劇団四季の俳優 佐野正幸をお迎えして、ポピュラークラスでの発声法などについてお伺いしました。 ・9/29 2024年度よりカリキュラム改正の「歌曲講座」ドイツ歌曲の授業内容と進行の仕方について、担当予定教員と打ち合わせしました。
10月	ミュージカル	2023年9月27日 1・3年生シーンスタディにおける授業の両学年を参観。その後授業進行、並びに成果公演に向けての意見交換を教員間で行った。
10月	ダンス	2023年9月22日 コースAP・必修授業担当教員会議：学生からの意見や希望を共有し、後期や2024年度の授業の改善点、授業成果発表公演の方針等を検討し、情報交換・意見交換を行った。
10月	音楽環境創造	・2023年9月27日 専任教員において、来年度のコース企画演奏会の実施方針や日程について調整を行った。
11月	ピアノ	10月14日：ピアノ部会において、学内コンクール、オープンキャンパスなどイベント等について実施報告を行い、内容の確認と検証を行った。

		また、来年度の授業等について幅広く情報共有と意見交換を行い、今後の授業改善等についても検討を行った。
11月	電子オルガン	2023年10月25日 電子オルガン ウィンターコンサートおよび第5回大学院電子オルガンコース定期演奏会の出演者オーディションを実施。EOコース教員全員の審査により出演者を決定した。
11月	打楽器	来年度より変更になるオーケストラの授業に向けて、打楽器コースとしての考えを専任教員で共有しました。 大学院の授業について、担当教員で話し合いを持ちました。
11月	ジャズ&アメリカンミュージック	■2023/10/9, 19, 22 AP&副 AP&AA によるオンライン会議を行いました。今後の予定とその方針、クラスミーティングの内容について、個別の学生の修学について、また休学について等を話し合いました。
11月	声楽	・10/26 企画運営会議 2024年度声楽コースリーフレット修正、学園オペラ合唱団募集要項の確認、神奈川フィル「第九」公演のための稽古について、などの相談をしました。 ・10/27 神奈川フィル「第九」公演 12/25の詳細について、マエストロ音楽稽古・オケ合わせ・GP・本番の確認と打ち合わせを行いました。
11月	ミュージカル	2023年10月19日各学年 AA 教員と学生の出席状況を把握・共有をし、出席日数の乏しい学生についての今後について意見交換を行った。
11月	音楽教育	●8月下旬にオンラインにて、並びに9月下旬から10月始めにかけてメールにて、音楽教育コース専門科目（1年次：必修/2～4年次：選択）「アートマネジメント研究1～4」の次年度授業計画について、担当教員間で会議を行った。
11月	声優アニメソング	2023年10月17日 専任・オフィス会議 来年度の時間割について意見交換をした。 2023年10月19日 担当教員ミーティング 後期の授業内容に関して協議をした。 2023年10月24日 専任会議 来年度の授業担当・内容について情報共有、協議をした。
11月	ダンス	2023年10月29日コース AP AA 会議：履修確認期間のため学生の出席状況等を共有し、欠席多数の学生や学生生活に悩みを抱えている学生への対応について等意見交換を行った。
11月	ワールドミュージック	9月25日 WM 演奏論担当教員と授業内容に関して意見交換を行う。現在の履修者の音楽表現力の向上に不可欠な能力を強化することが確認された。
11月	音楽環境創造	11/26 学生のメンタルケアの対応について、一部のレッスン担当教員と申し合わせた。今後の部会でも共有する予定。
12月	ピアノ	11月9日：ピアノ部門運営会議が開かれ、学内コンクール、演奏会などイベントについて実施報告を行い、情報共有を行った。 また、来年度の授業や後期実技試験における成績開示方法などについて幅広く情報共有と意見交換を行い、今後に向けての検討を行った。 11月9日：ピアノ部会において、来年度の授業編成、実技試験成績開示方法、学修成果の可視化について、検討と意見交換を行った。
12月	管楽器	2023年11月30日コース担当教員会議：実技試験の在り方で、試験後に学生にどのように講評を伝えて行くか、各楽器にばらつきがないよう模索して行くことを教員間において共有した。

12月	弦楽器	11月9日に第4回弦楽部会が行われました。11月の時点での総合型入試合格者報告。オーケストラの演奏要員が恒常的に足りないので先生方にご紹介を依頼。 2024年11月22日のSENZOKUストリングオーケストラ演奏会は、洗足学園音楽大学創立100周年弦楽器コース特別演奏会として原案をまとめる準備を始めた。
12月	打楽器	練習室の予約や使用状況において学生から上がって来た内容について、教員で話し合いを持ちました。今後、年内に学生に対して改めて周知する事になりました。
12月	声楽	・11/9 12/17公演のPOPS CONCERT スタッフ会議 授業担当教員、舞台監督、音響、照明の先生方による打ち合わせを行いました。
12月	声優アニメソング	2023年11月2日 専任教員会議 来年度のカリキュラムに関して検討した 2023年11月10日 専任教員会議 カリキュラムツリー・マップに関して情報共有した 2023年11月30日 担当教員会議 出席不振学生に関して情報を共有し、対策を協議した。
12月	音楽環境創造	11月29日 コース授業担当者会議：新任教員と意見交換を実施。コースの方針を確認しながら、次年度の授業内容を調整していくことを申し合わせた。
1月	ピアノ	11月18日：ピアノ部会において、来年度の特別クラスの運営等について協議を行い、幅広く意見交換を行った。 12月1日：ピアノ部会において、来年度の授業運営、学修成果の可視化等について、検討と情報共有を行った。
1月	管楽器	12月 APと各楽器専任教員の個別面談を行い、今後のコース運営について意見交換を行った。また来年度入試課題についても確認を行った。
1月	弦楽器	1月18日 弦楽器コース運営委員会 今年度最後の運営委員会 今年度1年を振り返り、その成果と反省点を確認する。
1月	打楽器	合奏授業の本番に向けて、練習を欠席せざるを得なかった学生の処遇について担当教員で話し合いを持ちました。教員間においても様々な捉え方があり、今後も注視して対応することを確認しました。
1月	ジャズ&アメリカンミュージック	■ 2023/12/12 AP&副APによる会議を行い、来年度以降におけるカリキュラムやコース運営について、現在の各授業運営について、及び学生支援について等の意見交換を行いました。
1月	現代邦楽	現代邦楽研究所は来年度に（本学園の創立100周年と同時に）30期目（本学に移管されてからは20期目）を迎える。これを機に、各講座の設定や受講制度の見直しなどの検討を開始している。しかるべき時期に大部会を行う必要があるが、まず出講で顔を合わせる教員による小ミーティングを断続的に行い、情報や意見の収集及び共通認識の構築を推進している。
1月	声楽	・12/30 オンラインによる AAAP 会議 学生の出欠状況と履修状況の共有、2024年度声楽基礎演習授業内容について話し合いました。
1月	バレエ	AP/AA 担当教員で随時協議 ・学年末試験の審査員の先生方を確認し、審査方法について検討した。 ・卒業試験までの4年生の指導や全体練習などのスケジュールについて検討した。
1月	声優アニメソング	2023年12月7日 担当教員会議 来年度の授業編成、担当について話し合った。

		<p>2023年12月14日 担当教員会議 休学・退学学生への対応について情報共有、対応を検討した。</p> <p>2023年12月21日 担当教員会議 2月に行われる成果発表に関して、報告、対応等協議した。</p> <p>2023年12月15日 担当教員会議 来年度の入試課題について協議した。</p>
1月	音楽環境創造	<p>2023年12月27日 授業に関する意見交換：アンケート結果や学生の授業に対する感想や要望等を分析し、来年度に向けて問題点及び改善策についてまとめた。次回部会会議において協議予定。</p>
2月	ピアノ	<p>1月22、24日：ピアノ部会において、学部学年末実技試験実施について協議を行い、内容の確認と情報共有を行なった。また、来年度の特別クラス生選考、各種イベント内容等についても協議を行い、詳細な検討と幅広い意見交換を行った。</p>
2月	弦楽器	<p>1月18日弦楽器コース運営委員会開催 1年を通しての合奏演奏会、マスタークラス、特別講座、オープンキャンパス、入試などを振り返り、先生方にそれぞれ成果と次年度への課題をお話いただきました。</p>
2月	打楽器	<p>実技試験に向け、どうしても大型のセットを組む必要がありその設置場所に工夫が必要である。その事の周知、確認を改めてしました。また多くの学生で共有する中で起きてしまう楽器のトラブルに対して担当教員、楽器室と話し合いを持ち、対応しました。</p>
2月	ジャズ&アメリカンミュージック	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2023/12/28 AP&副 AP&AA によるオンライン会議にてアドバイジングについての報告と連絡作業を行いました。 ■ 2024/1/16 APと副 AP によるミーティングにおいて、今年度のコース運営の総括と来年度に向けた議題等について話し合いました。
2月	声楽	<ul style="list-style-type: none"> ・1/11 声楽部門運営会議 1年間の各授業担当書の報告と来年度に向けて。 ・1/15 オンラインによる 2024年度歌曲講座担当者会議 新カリキュラムの授業内容について確認しました。
2月	ミュージカル	<p>2024年1月20日学3必須科目教員で、成績評価づけのためのミーティングと共に来年度についての学生評価について検討を行った。</p>
2月	声優アニメソング	<p>2024年1月9日 担当教員会議 来年度の授業編成、担当について協議した。</p> <p>2024年1月10日 担当教員会議 来年度の入試問題について協議した。</p> <p>2024年1月12日 担任教員会議 クロスアーツ入室生徒の対応について情報共有、対応を検討した。</p> <p>2024年1月26日 全体部会 来年度の情報共有などが行われた。</p>
2月	ダンス	<p>2024年1月24日 コース専任教員・非常勤教員会議：2024年度の授業進行や成果発表公演の方針等を検討し、意見交換を行った。</p>
2月	ワールドミュージック	<p>1月15日 クラシックギターレッスン担当教員とのミーティング 各学生の状況、学修の達成度について意見交換し、今後のレッスン内容等を検討した。</p> <p>1月26日 WM演奏論担当者、アカデミックアドバイザーによる成績会議および来年度授業の打合せ。各学生の状況を見ながら、音楽基礎力を強化する授業方法を検討した。</p>
2月	音楽環境創造	<ul style="list-style-type: none"> ・1/19（金）コース専任会議：2024年度版のカリキュラムツールの検証において、履修モデルの修正をした。

3月	ピアノ	<p>2月1、2日：ピアノ部会において、学部学年末実技試験実施状況について報告と確認を行い、学修成果の可視化のための検討と意見交換を行った。</p> <p>2月7日：ピアノ部会において、卒業試験実施状況報告を行い、結果について幅広く協議を行った。</p> <p>また、来年度の特別クラス生選考、各種入試イベント内容等についても協議を行い、詳細な検討を行った。</p> <p>2月11日：ピアノ部会において、入試実施状況と来年度のコース運営について、幅広く情報共有と協議を行った。</p>
2月	管楽器	<p>2024年1月16日 APと吹奏楽授業責任者による吹奏楽ワーキンググループを立ち上げ、第1回会議を開く。各団体の特徴と方向性を示すべく意見交換を行った。</p> <p>1月23日管楽器コースAPと打楽器コースAP、吹奏楽指導者マスタークラス授業担当者によるワーキンググループを立ち上げ、第1回授業運営会議を開き、これまでの問題点を検証し改善策を考え、当クラスの未来について話し合いをした。</p>
3月	弦楽器	<p>次年度の準備のため、しばしば臨時的ミーティングを行い、AP 沼田より羽川先生に細部を伝達。</p>
3月	打楽器	<p>一年を通して授業内や打楽器コース内において問題になった事項を再確認し、来年度に向けてコース全体のミーティングを持ちました。</p>
3月	ジャズ&アメリカンミュージック	<p>■2024/2/15 AP&副 AP&AA によるオンライン会議において、来年度のAA業務等についての打ち合わせを行いました。</p>
3月	声楽	<p>・2/5 オンラインによる 2024年度オペラ実習授業担当会議 新4年生の演目の決定について</p> <p>・2/9 オンラインによる 2024年度ポピュラークラス授業担当会議 授業内容の確認と試演会について</p>
3月	ミュージカル	<p>2024年2月1日コース担当会議：次年度のカリキュラムについて学生数を満遍なく授業配置できるかを検討し、授業曜日、担当の見直しを行った。</p>
3月	バレエ	<p>1月31日 AP/AA 担当教員会議</p> <p>1月24日 学年末試験、1月31日（水）に卒業試験を実施した。今回の反省を踏まえて、問題点と今後の課題を検討した。</p> <p>2月7日 AP/AA 担当教員会議 来年度の前期公演について、リハーサルを行う授業の運営方法の検討を開始。4月に配役を決めるためにオーディションを検討する。FD委員会のシラバスチェックを受けて、コース全教員にシラバスの見直しを促す。</p>
3月	声優アニメソング	<p>2月9日 担当教員会議 クロスアーツ入室学生の対応について情報共有、対策を検討しました。</p>
3月	音楽環境創造	<p>2024年2月1日 コース専任会議：次年度の基幹授業である、公演実習への参加方法について意見交換を実施。2024年度の方針を決めた。その他、最初の卒業生を迎えるにあたり、これまでのコース活動を振り返り、今後の方向性や可能性について意見交換を行った。</p>

(教授会定例報告で報告された事項のみ記載)

(会議・研修等における参加者氏名は削除している)

シラバスチェック

1. 目的

FD 活動の一環として、シラバスの記載内容を確認し、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・大学院の 2024 年度全開講科目（講義・レッスン）の全てを対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. シラバスチェック担当者

- ・大学院 FD 委員会委員、FD 委員会委員（授業担当者以外の第三者）

4. 実施の流れ

月日	項目
2/1（木）	担当シラバス配布（2月教授会にて）
2/2（金）～2/15（木）	シラバスチェック
2/15（木）	チェックシート提出期限（スプレッドシート入力）
～シラバス公開日	シラバス変更期間※授業方針に変更があった場合
～シラバス公開日	科目担当者への修正依頼（事務局→科目担当者）
3/1（水）～3/31（金）	集計・分析
未定	結果報告（2024年度FD委員会）

5. チェック項目（別紙）

6. チェック表の提出（スプレッドシート入力）、朱入りシラバス原稿の提出

- ・提出先：FD 委員会事務局（daigaku_fd@senzoku.ac.jp）
- ・提出締切日：2024年2月15日（木）

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会）は、授業改善のための資料として集計結果を活用するものとします。
- ・チェック内容の結果は、必要に応じて、担当教員に提示します。
- ・チェック内容の赤字項目（重点項目）の結果は、授業担当教員に提示し、「シラバス改善報告書」を提出の上 2024 年度授業開始前までに内容を修正していただきます。

《チェック内容》

項目	点検内容
到達目標	① 学習の到達目標が具体的に示されているか。
	② 学習の到達目標が現実的なものであるか。
	③ 学習の到達目標が測定可能なものであるか。
	④ 学生を主体として、わかりやすく書かれているか。
授業時間外の学習(予習・復習)	① 授業時間外学習の内容や方法が示されているか。
	② 授業時間外学習に必要な時間の目安は示されているか。
成績評価の方法 および基準	① 授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。
	② 評価基準は明示されているか。
	③ 「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしていないか。 授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。
テキスト・ 参考文献	① 「テキスト・教科書」と「参考文献（参考資料・参考書）」のどちらかは具体的に明示されているか。
授業計画	① 授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。
	② 半期 15 回分（または通年 30 回分）の授業内容やその相互の関連が示されているか。
	③ 「試験」を授業回数に含んでいないか。「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。
評価結果	特に改善が必要と思われるものに関しては、改善を依頼するコメントを記入してください。特に、修正を要するコメントの付いたものは、事務局より、個別に担当教員に連絡いたします。

2024 年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項（集計）

2024年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項（集計）				2022	2023	2024	修正後
項目	NO	点検内容	主な指摘事項				
到達目標	①	学習の到達目標が具体的に示されているか。	・具体的な記述が必要	30	22	30	
	②	学習の到達目標が現実的なものであるか。	・わかりやすい表現の為に工夫が必要	0	2	3	
	③	学習の到達目標が測定可能なものであるか。		12	4	35	
	④	学生を主体としてわかりやすく書かれているか。					
授業概要	①	初学者にとってわかりやすく、具体的な記述がなされているか	・具体的な記述が必要	0	0	0	
授業時間外の学習	①	授業時間外学習（予習・復習）の内容や方法を示してください		15	3	17	
	②	授業時間外学習に必要な時間の目安を具体的に示してください		178	321	386	
成績評価の方法及び基準	①	授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。	・それぞれの評価方法が全体の何%なのかを示す	39	71	85	→0件
	②	評価基準は明示されているか。	・「平常点」と「授業への参加姿勢・授業態度」の違いが不明	34	60	76	
	③	「出席点や出席状況で○○%」という記載をしていないか。授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。	・出席により評価されるような記載は認められない ・「出席点、出席状況」といった出席に関する内容は記載しない	10	4	15	→0件
授業計画	①	授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。	・相互の関連性が必要 ・記述内容を明確にすること	20	9	11	
	②	半期15回分（または通年30回分）の授業内容やその相互の関連が示されているか。	・同様のテーマを取り扱う場合であっても、数字のみで区別するのではなく、回数ごとに扱うテーマのキーワードを記載し、各回の学習内容の違いを明確にする（数字での区別・後期での内容省略）	11	29	37	→0件
	③	「試験」を授業回数に含んでいないか。 「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。	・「試験」が回数に含まれている	11	6	14	→0件
テキスト・参考文献	①	「テキスト・教科書」と「参考資料（参考文献）」の両方が「なし」は認められません。（文部科学省からの新規通達、2017年度より）	・テキスト・教科書・参考文献に関しては、いずれかの項目に資料名を記載する	170	152	320	
履修条件			・記述表現への指摘 等				
合計				530	683	1029	

2024 年度開講科目対象シラバスチェック（報告）

【1】今回の結果について

1. シラバスチェックの結果、1029 件の指摘があり、前年より 341 件増加した。
2. 重点項目における指摘件数では、「成績評価の方法及び基準」欄において、それぞれの評価方法の割合が示されていないという指摘が増え 85 件（前年度比+14 件）となった。
3. 指摘が最も増加したのは、『授業時間外の学習』欄において、具体的な予習復習の時間が提示されていないという項目で前年度より 55 件増加し、386 件となった。
4. 重点項目における指摘の計 149 件については、科目担当教員 65 人にポータル掲示にてフィードバックを行い、「シラバス改善報告書」の提出を依頼した。期日までに提出のあった教員は、全体の半分以下（29 人）と少なく、残る 36 人の教員には、FD事務局から直接連絡をし、チェック者のアドバイスや修正案を提示し、対話しながら修正を行った。
5. 「授業で使用するテキスト・参考文献」欄においての指摘が前年より最も増え（前年比+168 件）、320 件となった。

【2】今後の課題等について

1. 2023 年 3 月 31 日付、大学基準協会からの『大学評価（認証評価）結果』において、シラバスの「授業計画」の記載内容に精粗が見られ、一部に極めて簡略化された記載があることについて指摘があった。これを受け、内部質保証推進委員会より、本委員会に対して見直しを行うよう指示が出された。各回の学習内容の違いを明確にし、学生の学修に役立つシラバスになるようさらなる充実を図りたい。
2. 2020 年度シラバスチェック報告での課題となっていた「シラバスチェック者の基準のバラツキ」については、ワークショップで取り上げた項目について指摘件数が増加傾向にあり、基準の統一という点で一定の効果がある。引き続き、取り組んでいきたい。
3. 指摘事項一覧の共有による改善依頼だけでは、形式的な修正に留まり、特に「授業計画」では、「基礎」「応用」といったキーワードだけを追記して、指摘を回避されようとする教員が多い。そのため、シラバス相談窓口を一時的に設置し、個別に指摘内容の説明を行った。「今まで大丈夫だったのに、なぜ今年はダメなのか」という意見を多く受けたが、本学のシラバスに求められていることを再度説明し、他教員の良い例や他大学のシラバスを情報提供しながら、対話の上で修正できる体制をつくった。その結果、修正されたシラバスでは、各授業での重要なポイントがわかるようになり、学生の学習を促すような内容となっているものが目立った。また、「次年度のシラバスはもう少し充実できるように考えてみます」といった発言もあり、執筆者の改善への意識が高まった様子が伺えた。
4. 授業計画においては、引き続き、「キーワード（応用、基礎など）」での区別にとどまらず、良い例を積極的に共有し、シラバス執筆者がより高度な視点での改善が図れるよう働きかける。

授業に関するアンケート

1. 目的

FD 活動の一環として、学生からの授業に対する意見・感想を聞き、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・大学院の全開講科目（講義・レッスン）を対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. 実施の流れ

前期科目	後期科目・通年科目	項目
2022/7/1（金） ～7/30（土）	2022/12/1（木） ～2023/2/17（金）	アンケートの実施 （SENZOKU ポータル）
2022/8/10（水） ～2023/3/31（金）	2023/3/4（土） ～7/31（月）	実施結果の閲覧 （SENZOKU ポータル）
2022 年 10 月	2023 年 6 月	大学ホームページへの掲載

4. アンケートの質問内容（別紙）

5. 集計

- ・以下の 2 種類の集計を実施します。

種類	内容
担当科目集計	各担当科目別の個々の教員データの集計
科目分類集計	講義、レッスン、必修科目、専門選択科目（各コース）、専門選択科目（共通）、一般総合科目、オンデマンド科目の 7 分類による集計

6. 結果の提示及び公表

- ・担当科目集計及びアンケート結果は、SENZOKU ポータルを通じて、担当教員及び受講者に提示します。
- ・講義、レッスンの集計結果については、大学のホームページで公表します。

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、カリキュラム委員会等）は、授業改善のための資料としてアンケート結果を活用するものとします。

No	設問文（講義）
1	この授業に何回出席しましたか。
2	この授業のために1週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。
4	シラバス（主題と目標、授業計画）に沿って授業が行われましたか。
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか。
7	板書や視聴覚教材の利用、資料の提示方法は適切でしたか。
8	授業に集中できるよう配慮をしていましたか。（私語の防止、遅刻への対応）
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか。
10	この授業を受講して有意義でしたか。
11	この授業の開始・終了時刻は守られていましたか。
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか。
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか。
14	この授業を総合的に評価して満足していますか。
15	この授業でよかった点を入力してください。（自由記述）
16	この授業で改善してほしい点を入力してください。（自由記述）
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください。 ・スマートフォン ・タブレット ・パソコン ・その他
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか。
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか

No	設問文（レッスン）
1	このレッスンに何回出席しましたか。
2	このレッスンのために1週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか。
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか。
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか。
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか。
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか。
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか。
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか。
12	このレッスンでよかった点を入力してください。（自由記述）
13	このレッスンで改善してほしい点を入力してください。（自由記述）

卒業・修了時満足度調査

1. 目的

FD 活動の一環として、卒業予定者を対象に学修成果を確認し、且つ、大学の提供した教育及び学生生活支援に対する総合的な意見・感想を聴取することにより、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実に役立てることを目的として実施します。

2. 対象

- ・正規生の学部 4 年生、大学院 2 年生を対象とします。
- ・非正規生の科目等履修生・聴講生は対象外とします。

3. 実施の流れ

前期	項目
1/12 (水) ~ 3/11 (金)	アンケートの実施 (SENZOKU ポータル)
4/4 (月) ~ 5/13 (金)	実施結果の閲覧 (デジタルサイネージ)

4. アンケートの質問内容 (別紙)

5. 集計

- ・以下の集計を実施します。

種類	内容
全体集計	アンケート全体の集計

6. 結果の提示

- ・集計結果は、デジタルサイネージを通じて、在学生に提示します。

7. フィードバック

- ・教員組織 (大学院 FD 委員会、FD 委員会、IR 委員会、教務委員会等) は、教育改善のための資料として調査結果を活用するものとします。

《質問内容・学部》

No	設問文	備考
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。	
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての的確な情報を得ることができた。	
3	それぞれの授業科目が何を目指したものが、到達目標が明確だった。	
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。	
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。	
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。	
7	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。	
8	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。	
9	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。	
10	（専門性、専門実技）自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができるようになった。	
11	（多様性の尊重）社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができるようになった。	
12	（協働する力）自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができるようになった。	
13	（社会貢献・実践的態度）自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度が身に付いた。	
14	（論理的思考力・問題解決力）論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができるようになった。	
15	洗足学園音楽大学を卒業して良かった。	
16	自らが所属したコースで学んだ意義があった。	
17	洗足学園音楽大学を卒業したことを誇らしく思っている。	
18	洗足学園音楽大学に愛着を持っている。	
19	洗足学園音楽大学に対する総合的な満足度（10点法）	
20	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。（教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等）	

《質問内容・大学院》

No	設問文	備考
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。	
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての的確な情報を得ることができた。	
3	それぞれの授業科目が何を目指したのか、到達目標が明確だった。	
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。	
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。	
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。	
7	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。	
8	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。	
9	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。	
10	（専門性、専門実技）自らの専門分野の高度で専門的な知識・技能あるいは研究能力を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。	
11	（多様性の尊重）社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。	
12	（協働する力）自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。	
13	（社会貢献・国際貢献・実践的態度）国際社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。	
14	（論理的思考力・問題解決力）論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。	
15	（プロフェッショナル）社会における自らの専門分野の意義と役割を理解し、専門家として主体的で創造的な研究活動を継続することができる。	
16	洗足学園音楽大学大学院を修了して良かった。	
17	自らが所属した専攻・コースで学んだ意義があった。	
18	洗足学園音楽大学大学院を修了できることを誇らしく思っている。	
19	洗足学園音楽大学大学院に愛着を持っている。	
20	洗足学園音楽大学大学院に対する総合的な満足度（10点法）	
21	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。（教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等）	

FD 委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学教授会規程第9条第1項の規定に基づき、FD委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

(組織)

第2条 FD委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 学長の指名した教職員

(会議)

第3条 FD委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、FD委員会を招集し、その議長となる。
- 3 FD委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、FD委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

(会議成立の要件)

第4条 FD委員会は、当該構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(審議事項等)

第5条 FD委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- (1) FD活動の企画立案
- (2) FD活動の実施計画の立案
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他学長の諮問する事項

- 2 FD委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

(議決)

第6条 FD委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

(議事録)

第7条 FD委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

大学院 FD 委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学大学院教授会規程第9条第1項の規定に基づき、大学院FD委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

(組織)

第2条 大学院FD委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- (1) 研究科長
- (2) 学長の指名した教職員

(会議)

第3条 大学院FD委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、大学院FD委員会を招集し、その議長となる。
- 3 大学院FD委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、大学院FD委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

(会議成立の要件)

第4条 大学院FD委員会は、当該構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(審議事項等)

第5条 大学院FD委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- (1) FD活動の企画立案
- (2) FD活動の実施計画の立案
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他学長の諮問する事項

- 2 大学院FD委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

(議決)

第6条 大学院FD委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

(議事録)

第7条 大学院FD委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

資料 1 : FD 研修会 (チラシ)

FD・SD

全教職員対象研修会

本学では、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための研修の機会を年に数回設けております。ぜひご参加ください。

開催概要

日時 ①②どちらかにご参加ください

2023年8月3日(木)

- ① 09:30～10:30 対面開催
- ② 10:40～11:40 対面&オンライン同時開催

会場

e キューブ 4F 会議室

参加申し込みフォーム

<https://forms.gle/kyhFzon5BitPvFaw5>

オンライン参加希望の場合、個別に会議 URL をご連絡いたします。



講演テーマ

音楽ビジネスの **DX**
音楽×テクノロジーで
社会に貢献する

2

講師

わきた たかし

脇田 敬 先生

洗足学園音楽大学講師



音楽プロデュース、マネジメント、マーケティング。

レコード会社勤務、ライブハウス/クラブ・マネージャーなどを経て、有限会社 FLYMUSIC を設立し、多くの新人アーティストをメジャーデビュー、ブレイクへと導く。デジタル時代の音楽ビジネス知識を活かしたマネジメント、プロデュースを行う。また音楽ビジネス知識を広める発信や著述活動や人材育成を行う。

2023 年、音楽デジタルマーケティング会社、株式会社 LAB を設立。『音楽デジタルマーケティングの教科書 ポスト SNS 時代のヒットの作り方』（リットーミュージック 山口哲一との共著）を出版。

株式会社 LAB 代表取締役。有限会社 FLYMUSIC 代表取締役。

洗足学園音楽大学教員。経済産業省監修デジタルコンテンツ白書編集委員。デジタル時代の音楽ビジネスマンを育成するニューミドルマン養成講座（現ニューミドルマン・コミュニティ）、音楽デジタルマーケティング講座を運営。

著書 「ミュージシャンが知っておくべきマネジメントの実務」（リットーミュージック）

「音楽デジタルマーケティングの教科書 ポスト SNS 時代のヒットの作り方」（リットーミュージック 山口哲一との共著）

<https://lit.link/wakita>

音大生こそ、実は！
社会性に溢れているのです

2023 年度 FD 研修会

音大における教養科目の授業デザイン ～音大生に求められる社会性とは～

音楽で人とつながり、ハーモニーを生み出す表現力の探求は、ビジネス・スキルの最も良質な先取り教育です。音楽こそ、キャリアにつながる価値の高い学びといえます。

この授業では教養科目のメリットを活かし、学生同士がコースを越えて学び合い、切磋琢磨することを意識した授業づくりを実践。コメントペーパーを活用し学生が他者の理解を深めるための実践方策や、ロールプレイングにおける固定集団化防止などの工夫が満載です。そして、大学の学

びをいかに社会につなげていくか、どのような可能性が自分にはあるのか、学生自身が見つけられるアプローチ方法にも迫ります。

【日程】 2024 年 2 月 29 日(木)

【時間】 11:00～12:10

【会場】 法人本部棟 大会議室

【講師】 稲又可奈先生 一般総合科目
「ビジネス講座」担当 2022 年度学生評価 NO1

【参加申込フォーム】
<https://forms.gle/ZPRMQ356MvWV34hA8>

先生へのメール、
失礼のないように
書くには・・・

レシピに沿ったメール
作成課題も !!





講師プロフィール

いなまた かな
稲又 可奈

公証人役場勤務、警視庁警察官（警察学校では音楽隊「ヤングリーブス」隊長を経験）を経て、現在は大学非常勤講師、ビジネスマナーインストラクター。大学では秘書検定講座をはじめ就活対策講座、面接対策講座を担当。企業ではビジネスマナー研修、秘書実務研修を担当。早稲田ワーキングスクール秘書検定 Web 講座作成、指導、監修。ユーキャン サービス接遇検定講座作成、監修、指導。秘書検定 Web 講座（日建学院主催・早稲田ワーキングスクール監修）の主任講師を担当。秘書検定、サービス接遇検定試験では、（公財）実務技能検定協会より面接試験委員を委託されている。

指導方針

講義では秘書検定の内容をベースに取り組んでいきますが、単に答えを覚えるだけでは「マナーを身に付ける」ことはできません。日常生活はもちろんのこと、社会的な問題や人の心身にもスポットを当てながら、人生を自分らしく、より豊かにするためにどう行動したらいいのかを考え、知識の修得と洗練を目指しています。

音大生のビジネスマナーの習得度は高いです。日頃から先生方をはじめ、社会人との関わりも多く、評価されることにも慣れているからだと思います。特に、「自分の言葉で書ける」学生が多いこと。これは特筆すべき長所だと思いますし、優れた点は学生にもどんどん伝えるようにしています。

【研修会に関するお問合せ】FD 委員会事務局 daigaku_fd@senzoku.ac.jp

資料 2 : 授業に関するアンケート結果

2024-07-10 版

2023 年度 前期 授業に関するアンケート

区分別集計結果表

学部-講義

学部-レッスン

大学院-レッスン

洗足学園音楽大学・大学院

2023年度前期（遠隔授業含む）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

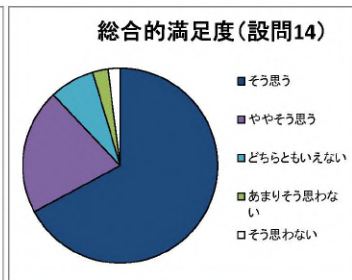
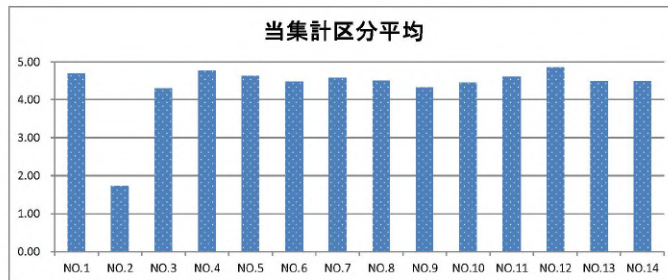
集計区分 学部-講義全体

履修者数	14943
回答数	4157
回答率	27.82%

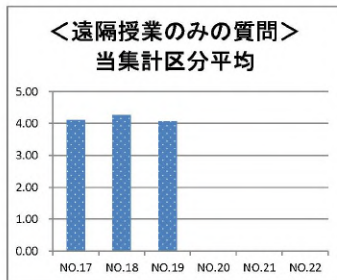
あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.64	半期5-13回 通年30-26回 70.96%	半期2-10回 通年25-20回 24.22%	半期0-1回 通年19-14回 3.08%	半期0-4回 通年13-8回 0.89%	半期3回以下 通年7回以下 0.84%	4157	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	1.76	4時間以上 5.36%	3-4時間 3.42%	2-3時間 8.73%	1-2時間 26.89%	1時間未満 55.59%	4157	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.40	そう思う 58.50%	ややそう思う 28.55%	どちらとも いえない 9.04%	あまりそう 思わない 2.62%	そう思わない 1.27%	4157	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.74	80.49%	14.50%	3.84%	0.69%	0.48%	3746	411
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.73	81.37%	12.90%	4.24%	0.83%	0.67%	3730	427
6	教員の声や話し方は明確でわかりやすかったですか	4.65	77.09%	14.81%	4.86%	2.04%	1.21%	3727	430
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.67	78.48%	14.04%	4.84%	1.64%	1.00%	3717	440
8	授業に集中できるような配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.62	75.49%	14.57%	7.67%	1.19%	1.08%	3692	465
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.57	73.83%	14.79%	7.70%	1.97%	1.70%	3699	458
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.60	74.44%	16.16%	5.98%	1.75%	1.67%	3713	444
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.78	85.09%	9.76%	3.61%	1.00%	0.54%	3689	468
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.86	89.93%	7.23%	2.11%	0.40%	0.32%	3705	452
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.58	73.87%	16.42%	5.66%	2.40%	1.65%	3708	449

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.60	74.02%	16.86%	5.87%	1.85%	1.40%	4157	0



授業科目について: 遠隔授業のみの設問		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	4.07	50.71%	14.62%	25.48%	9.19%	0.00%	2045	2112
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.16	32.60%	57.56%	3.06%	6.79%	0.00%	589	3568
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.12	28.47%	61.28%	4.17%	6.08%	0.00%	576	3581



2024-07-10 版

2023年度前期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

集計区分 学部-レッスン全体

履修者数	1775
回答数	588
回答率	33.13%

あなた自身について

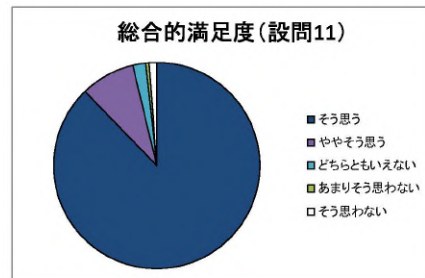
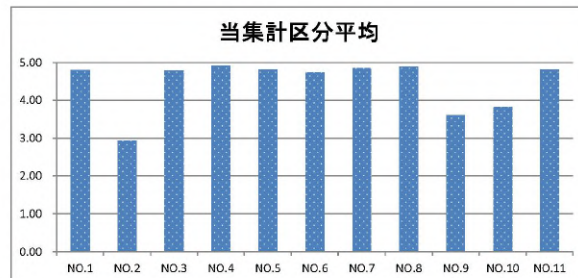
NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.81	半期5-13回 通年30-26回 83.84%	半期2-10回 通年25-20回 13.76%	半期7回 通年19-14回 1.70%	半期4回 通年13-8回 0.51%	半期3回以下 通年7回以下 0.17%	588	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.94	4時間以上 18.03%	3-4時間 13.95%	2-3時間 24.49%	1-2時間 31.12%	1時間未満 12.41%	588	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.79	そう思う 82.82%	ややそう思う 14.63%	どちらとも いえない 1.70%	あまりそう 思わない 0.17%	そう思わない 0.68%	588	0

授業科目について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.91	そう思う 93.60%	ややそう思う 4.33%	どちらとも いえない 1.69%	あまりそう 思わない 0.19%	そう思わない 0.19%	531	57
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.81	88.07%	7.58%	2.84%	0.57%	0.95%	528	60
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.74	80.81%	14.59%	3.26%	0.58%	0.77%	521	67
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.85	87.88%	9.47%	2.27%	0.38%	0.00%	528	60
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.88	90.72%	7.01%	1.89%	0.38%	0.00%	528	60
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.61	40.92%	12.24%	23.33%	14.15%	9.37%	523	65
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.82	49.42%	13.51%	17.76%	8.30%	11.00%	518	70

授業の評価

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.81	87.76%	8.50%	2.04%	0.51%	1.19%	588	0



2024-07-10 版

2023年度前期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

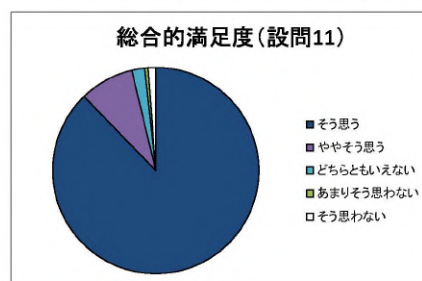
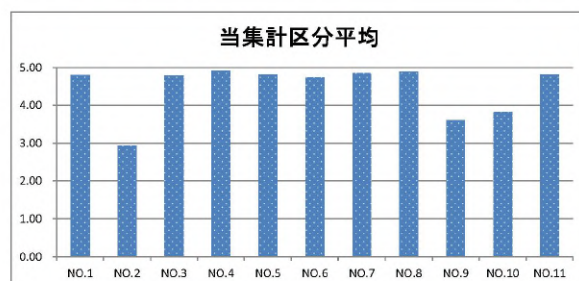
集計区分 学部-レッスン全体

履修者数	1775
回答数	588
回答率	33.13%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.81	半期5-13回 通年30-28回 83.84%	半期2-10回 通年25-20回 13.76%	半期7回 通年19-14回 1.70%	半期4回 通年13-8回 0.51%	半期3回以下 通年7回以下 0.17%	588	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.94	4時間以上 18.03%	3-4時間 13.95%	2-3時間 24.49%	1-2時間 31.12%	1時間未満 12.41%	588	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.79	そう思う 82.82%	ややそう思う 14.63%	どちらとも いえない 1.70%	あまりそう 思わない 0.17%	そう思わない 0.68%	588	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.91	そう思う 93.60%	ややそう思う 4.33%	どちらとも いえない 1.69%	あまりそう 思わない 0.19%	そう思わない 0.19%	531	57
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.81	88.07%	7.58%	2.84%	0.57%	0.95%	528	60
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.74	80.81%	14.59%	3.26%	0.58%	0.77%	521	67
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.85	87.88%	9.47%	2.27%	0.38%	0.00%	528	60
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.88	90.72%	7.01%	1.89%	0.38%	0.00%	528	60
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.61	40.92%	12.24%	23.33%	14.15%	9.37%	523	65
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.82	49.42%	13.51%	17.76%	8.30%	11.00%	518	70

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.81	87.76%	8.50%	2.04%	0.51%	1.19%	588	0



2024-07-10 版

2023 年度 後期
授業に関するアンケート

区分別集計結果表

学部-講義

学部-レッスン

大学院-レッスン

大学院-講義

洗足学園音楽大学・大学院

2024-07-10 版

2023年度後期（遠隔授業含む）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

集計区分 学部-講義全体

履修者数	37292
回答数	5406
回答率	14.50%

あなた自身について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.61	半期5-13回 通年30-26回 70.08%	半期2-10回 通年25-20回 24.71%	半期7回 通年19-14回 2.51%	半期4回 通年13-8回 1.31%	半期3回以下 通年7回以下 1.40%	5347	59
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.08	4時間以上 9.89%	3-4時間 5.29%	2-3時間 11.55%	1-2時間 29.63%	1時間未満 43.63%	5308	98
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.57	そう思う 68.21%	ややそう思う 23.94%	どちらとも いえない 5.68%	あまりそう 思わない 1.48%	そう思わない 0.70%	5284	122

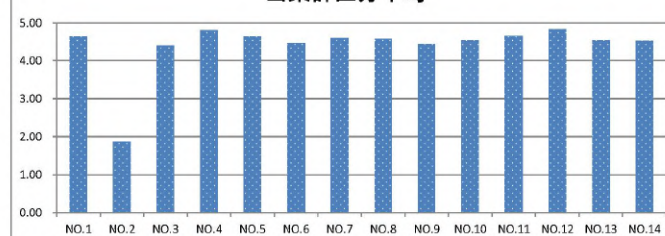
授業科目について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.80	84.09%	12.35%	2.91%	0.38%	0.27%	5255	151
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.79	84.69%	11.37%	2.97%	0.48%	0.49%	5259	147
6	教員の声や話し方は明確でわかりやすかったですか	4.74	81.99%	12.61%	3.75%	1.07%	0.59%	5258	148
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.70	79.51%	13.55%	5.35%	0.90%	0.69%	5216	190
8	授業に集中できるような配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.70	79.58%	13.51%	5.18%	1.30%	0.44%	5235	171
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.66	77.22%	14.12%	6.71%	1.22%	0.73%	5233	173
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.71	79.69%	14.80%	3.64%	0.99%	0.88%	5249	157
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.79	85.22%	10.18%	3.06%	1.09%	0.46%	5236	170
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.82	87.22%	9.40%	2.27%	0.71%	0.40%	5234	172
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.70	79.30%	14.63%	3.97%	1.34%	0.76%	5241	165

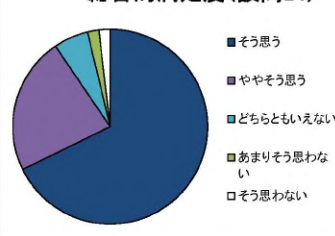
授業の評価

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.72	80.22%	14.50%	3.36%	0.99%	0.92%	5233	173

当集計区分平均



総合的満足度(設問14)

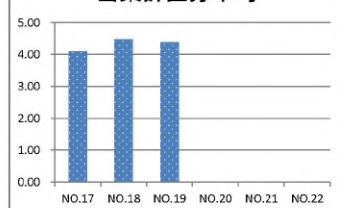


授業科目について:遠隔授業のみの設問

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	4.11	52.68%	12.05%	29.05%	6.22%	0.00%	2912	2494
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.24	39.22%	51.21%	3.64%	5.93%	0.00%	742	4664
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.17	36.33%	51.73%	4.11%	7.83%	0.00%	779	4627

<遠隔授業のみの質問>

当集計区分平均



2024-07-10 版

2023年度後期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

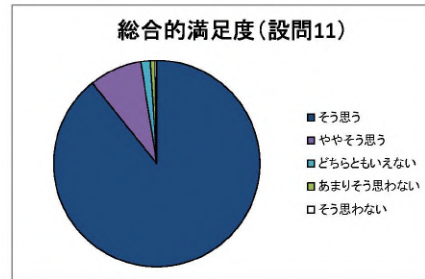
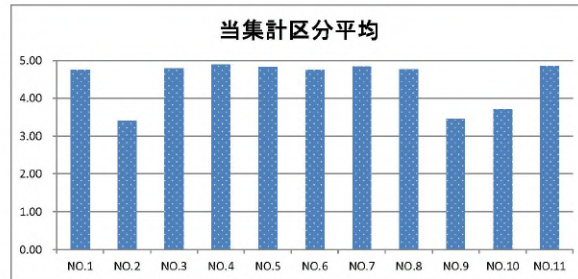
集計区分 学部-レッスン全体

履修者数	4561
回答数	1109
回答率	24.31%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.76	半期5-13回 通年30-28回 81.94%	半期2-10回 通年25-20回 14.34%	半期7回 通年19-14回 1.91%	半期4回 通年13-8回 1.00%	半期3回以下 通年7回以下 0.82%	1102	7
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.41	4時間以上 35.37%	3-4時間 11.39%	2-3時間 21.60%	1-2時間 22.15%	1時間未満 9.48%	1097	12
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.79	そう思う 82.75%	ややそう思う 14.31%	どちらとも いえない 2.20%	あまりそう 思わない 0.64%	そう思わない 0.09%	1090	19

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.88	90.63%	7.35%	1.65%	0.28%	0.09%	1089	20
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.83	87.11%	9.76%	2.12%	0.83%	0.18%	1086	23
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.76	81.37%	14.67%	2.95%	0.74%	0.28%	1084	25
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.84	87.19%	10.41%	1.75%	0.55%	0.09%	1085	24
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.76	82.86%	12.81%	2.86%	0.92%	0.55%	1085	24
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.46	33.09%	16.17%	25.93%	13.01%	11.80%	1076	33
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.72	45.24%	15.08%	16.37%	13.14%	10.18%	1081	28

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.85	89.26%	8.26%	1.47%	0.73%	0.28%	1089	20



2024-07-10 版

2023年度後期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

集計区分 大学院-レッスン全体

履修者数	387
回答数	157
回答率	40.57%

あなた自身について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.74	半期5-13回 通年30-26回 84.08%	半期2-10回 通年25-20回 8.92%	半期7回 通年19-14回 3.82%	半期4回 通年13-8回 3.18%	半期3回以下 通年7回以下 0.00%	157	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	4.51	4時間以上 70.06%	3-4時間 14.65%	2-3時間 11.46%	1-2時間 3.82%	1時間未満 0.00%	157	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.89	そう思う 91.72%	ややそう思う 7.01%	どちらとも いえない 0.00%	あまりそう 思わない 1.27%	そう思わない 0.00%	157	0

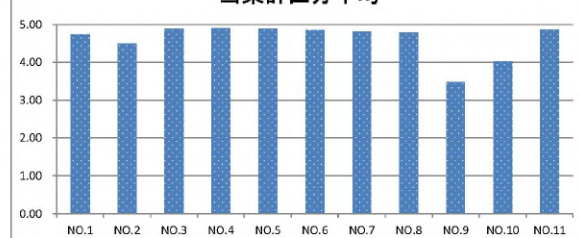
授業科目について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.90	93.63%	5.10%	0.00%	0.00%	1.27%	157	0
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.89	91.72%	7.01%	0.00%	1.27%	0.00%	157	0
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.85	87.18%	10.26%	2.56%	0.00%	0.00%	156	1
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.82	87.90%	8.92%	1.91%	0.00%	1.27%	157	0
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.78	85.35%	10.19%	3.18%	0.00%	1.27%	157	0
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.49	36.36%	17.53%	19.48%	11.69%	14.94%	154	3
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	4.03	55.19%	14.29%	16.88%	5.84%	7.79%	154	3

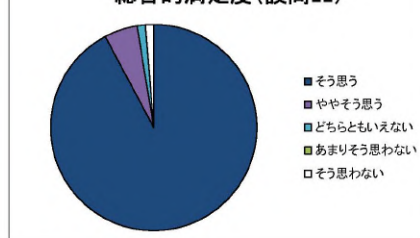
授業の評価

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.87	92.21%	5.19%	1.30%	0.00%	1.30%	154	3

当集計区分平均



総合的満足度(設問11)



2024-07-10 版

2023年度後期（遠隔授業用）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

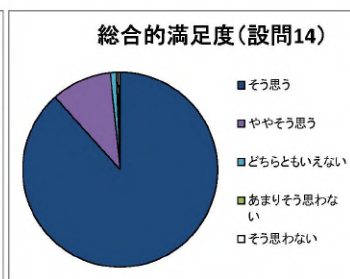
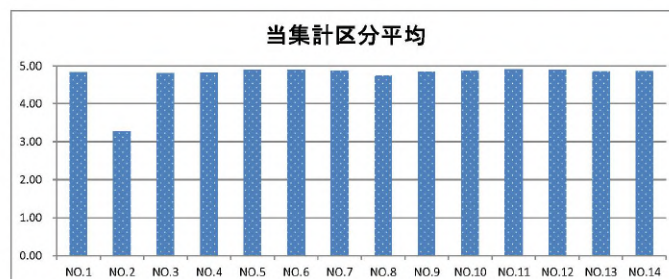
集計区分 大学院-講義

履修者数	743
回答数	312
回答率	41.99%

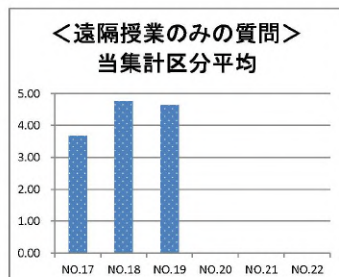
あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.83	半期5-13回 通年30-26回	半期2-10回 通年25-20回	半期7回 通年19-14回	半期4回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下	310	2
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.27	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	312	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.80	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	312	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.82	84.62%	12.50%	2.88%	0.00%	0.00%	312	0
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.89	90.35%	8.66%	0.96%	0.00%	0.00%	311	1
6	教員の声や話し方は明確でわかりやすかったですか	4.89	90.38%	8.85%	0.96%	0.00%	0.00%	312	0
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.87	88.39%	10.65%	0.97%	0.00%	0.00%	310	2
8	授業に集中できるような配慮をしていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.74	82.05%	13.46%	2.56%	0.64%	1.28%	312	0
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.84	86.17%	11.90%	1.93%	0.00%	0.00%	311	1
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.87	88.78%	9.94%	0.96%	0.32%	0.00%	312	0
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.91	92.63%	6.08%	1.28%	0.00%	0.00%	312	0
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.90	91.99%	6.08%	1.92%	0.00%	0.00%	312	0
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.86	86.22%	13.14%	0.64%	0.00%	0.00%	312	0

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.86	88.35%	10.03%	0.97%	0.32%	0.32%	309	3



授業科目について: 遠隔授業のみの設問		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.67	29.72%	12.05%	53.82%	4.42%	0.00%	249	63
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.76	80.95%	14.29%	4.76%	0.00%	0.00%	21	291
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.64	72.73%	22.73%	0.00%	4.55%	0.00%	22	290



資料3：卒業時満足度調査結果

2023年度 卒業時満足度調査

洗足学園音楽大学

1

調査概要

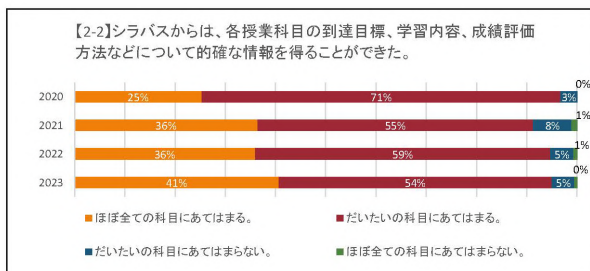
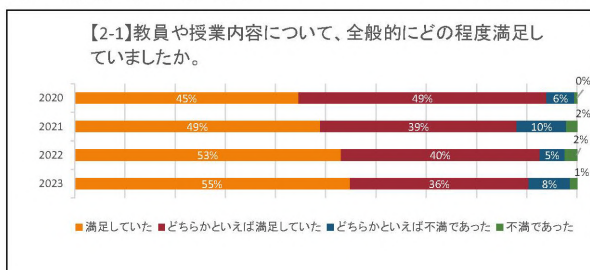
調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2024年3月卒業予定の音楽学部4年生（全コース）
調査時期	2024年1月10日（水）～2月29日（木）
所要時間	10分弱
質問数	21問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って

2

回答率	在籍者数	回答者数	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	
作曲	CO	2	2	100%	20%	67%	100%	25%
音楽・音響デザイン	SC	49	27	55%	59%	32%	37%	38%
ピアノ	PF	32	18	56%	50%	48%	20%	49%
管楽器	WI	94	33	35%	57%	32%	29%	26%
弦楽器	SI	12	6	50%	60%	62%	29%	60%
打楽器	PI	15	8	53%	55%	40%	44%	41%
電子オルガン	EO	12	7	58%	67%	50%	67%	50%
ジャズ	JZ	15	8	53%	65%	38%	59%	26%
現代邦楽	GH	1	0	0%	0%	0%	-	100%
ロック&ポップス	RP	42	13	31%	43%	39%	41%	21%
声楽	VO	17	12	71%	35%	24%	47%	36%
ミュージカル	MS	73	31	42%	46%	23%	54%	24%
バレエ	BL	27	8	30%	87%	37%	41%	39%
ダンス	DC	15	6	40%	75%	22%	-	-
声優アニメソング	AS	35	17	49%	63%	27%	37%	16%
音楽教育	ME	8	4	50%	50%	44%	43%	44%
ワールドミュージック	WM	4	2	50%	50%	-	-	-
音楽環境創造	SS	39	17	44%	-	-	-	-
合計		492	219	45%	58%	36%	39%	32%

3

① 教員や授業についての満足度

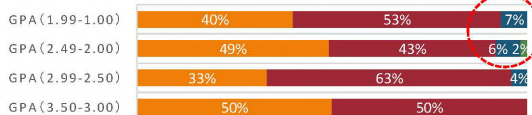


・【2-1】教員や授業内容に対して「満足していた」と回答した学生は2020年度に比べて10pt以上増えており、年々上がっている。

・【2-2】【2-3】シラバスの内容の理解度も年々上がっているが、GPA別にみると、2.5未満の学生で「あてはまらない※1」と回答した学生が目立ち、シラバスから適切な情報を得られていない可能性がある。

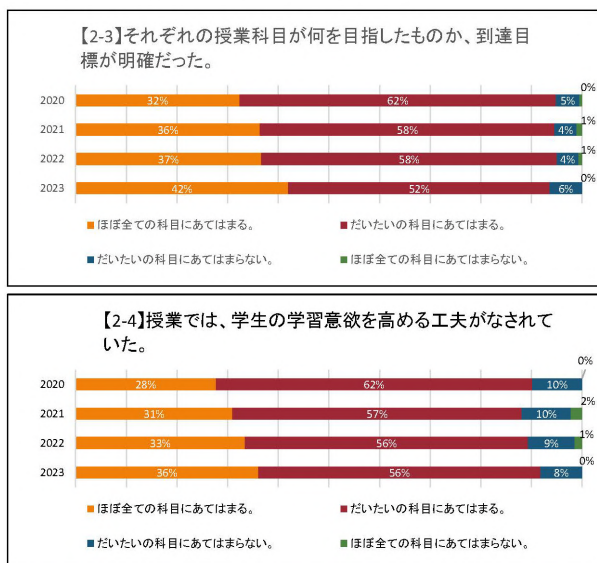
※1「だいたいの科目にあてはまらない」「ほぼすべての科目に当てはまらない」の合計

参考：【2-2】2023年度GPA別



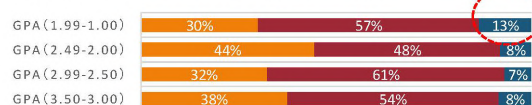
4

① 教員や授業についての満足度(つづき)



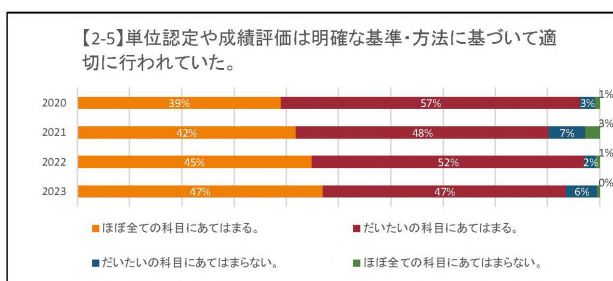
・【2-4】ほぼ全ての科目において、学生の学習意欲を高める工夫がなされていたと回答する割合が伸びている。また、GPA別にみると、2.0未満の学生に「あてはまらない※1」と回答した学生が多い(13%)。

参考：【2-4】2023年度GPA別



5

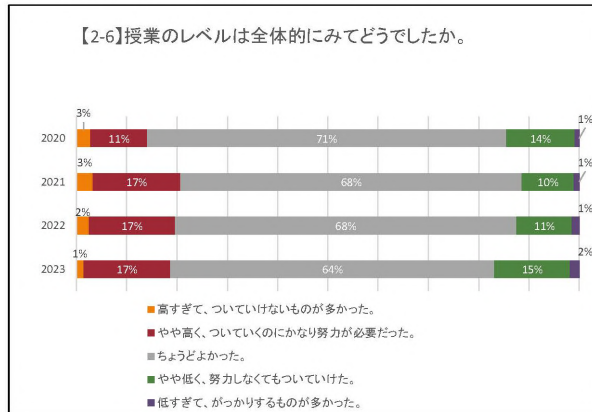
① 教員や授業についての満足度(つづき)



・【2-5】単位認定や成績評価については9割以上の学生が納得しており、その中でも「ほぼ全ての科目にあてはまる」と回答する割合が高くなっている。

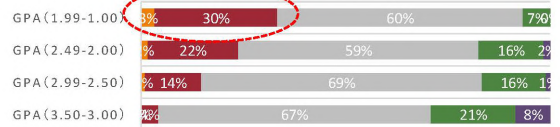
6

① 教員や授業についての満足度(つづき)

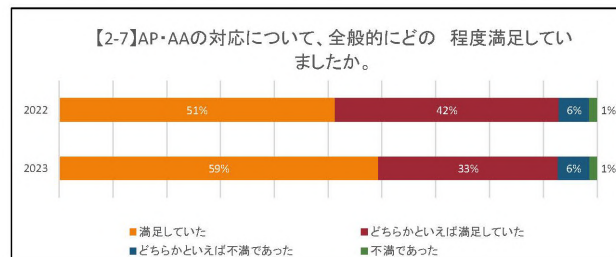


・【2-6】「ちょうどよかった」と回答する学生の割合が僅かに減り、「やや低い、努力しなくてもついていけた」と回答した割合が増えた。GPA別にみると、GPAが低くなるほど、レベルが高いと感じている学生が多く、2.0未満の学生の33%が「やや高い、高すぎる」と回答している。

参考：【2-6】2023年度GPA別



① 教員や授業についての満足度(つづき)

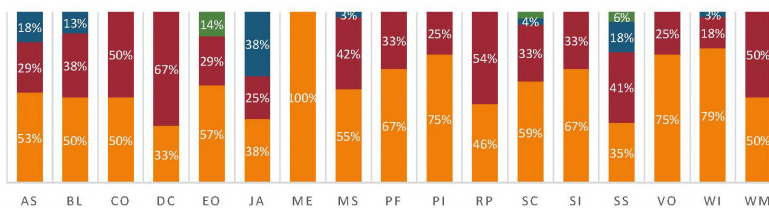


・【2-7】満足している学生※は、全体の93%と多く、「満足していた」と回答する割合は、前年から8pt上がり、59%となった。

※「満足していた」「どちらかといえば満足していた」の合計

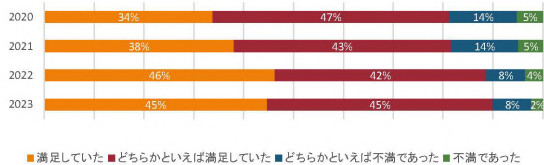
・コース別にみると、声優アニメソング、バレエ、電子オルガン、ジャズ、音楽・音響デザイン、音楽環境創造では、不満に感じている学生の割合が、平均(7%)より高い。

参考：2023年度コース別



②大学事務局についての満足度

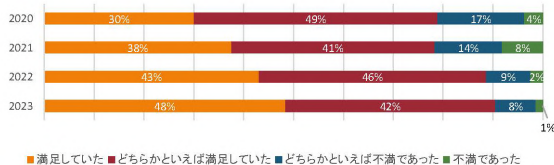
【3-1】職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。



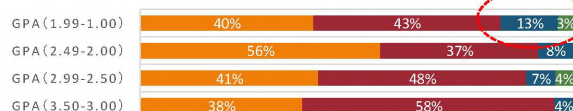
・【3-1】【3-2】職員の対応、事務手続きに関してはどちらも満足度が上がり、不満を感じる学生が減ってきている。

・GPA別にみると、GPAの低い学生ほど不満の割合が高いため、より丁寧な対応が必要になる。

【3-2】事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。



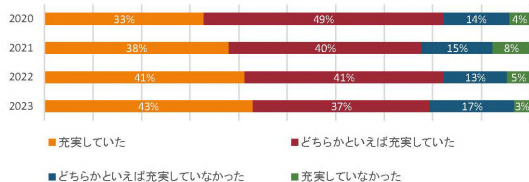
参考：【3-1】2023年度GPA別



9

③設備・施設についての満足度

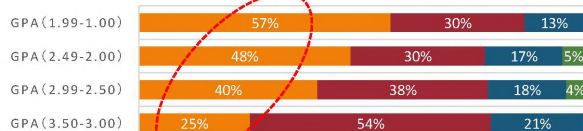
【4】学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。



・【4】設備・施設については、「充実していた」と回答する割合は年々高くなっているものの、充実していない※3と回答している学生が2割程度いる。過去の割合をみても、改善しているとは言えない。
※3「充実していた」「どちらかといえば充実していた」の合計

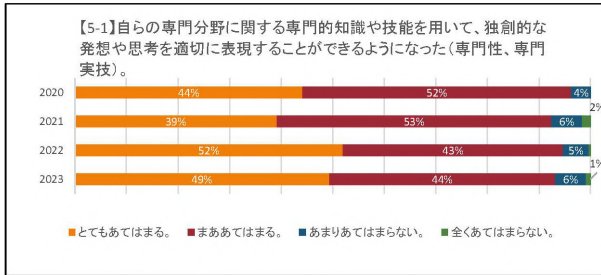
・GPA別にみると、GPAが高くなるほど、「充実していた」と回答する学生が少ない。学びが深まるほど、学生が施設に求める水準も高くなるようだ。

参考：【4】2023年度GPA別

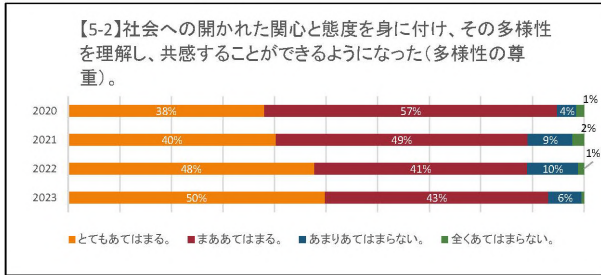


10

④4年間の学修成果



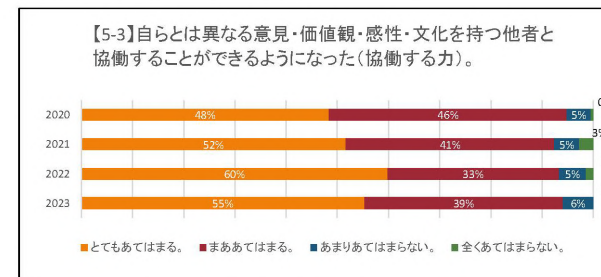
・【5-1】専門性について、「とてもあてはまる」と回答する割合が、前年より3pt下がり、49%となった。



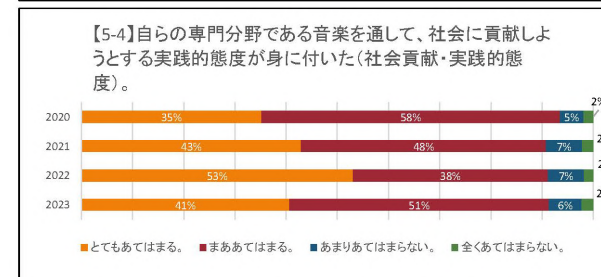
・【5-2】多様性の尊重について、「とてもあてはまる」と回答する割合が、年々上がってきている。

11

④4年間の学修成果(つづき)

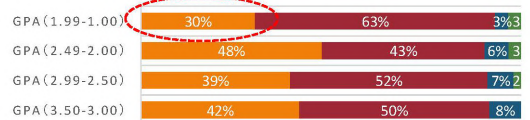


・【5-3】協働する力について、「とてもあてはまる」と回答した割合は、前年より5p下がり、55%となった。ただし、ディプロマポリシーに掲げる5つの学修成果の中では最も高い。



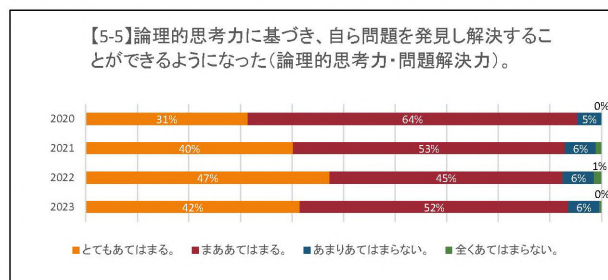
・【5-4】社会貢献、実践的態度については、「とてもあてはまる」と回答した割合が、前年より12ptも下がった。GPA別にみると、2.0未満の割合が最も低い(30%)。

参考：【5-4】2023年度GPA別



12

④4年間の学修成果(つづき)



・【5-5】論理的思考力についても、「とてもあてはまる」と回答する学生の割合が、前年より5pt下がった。

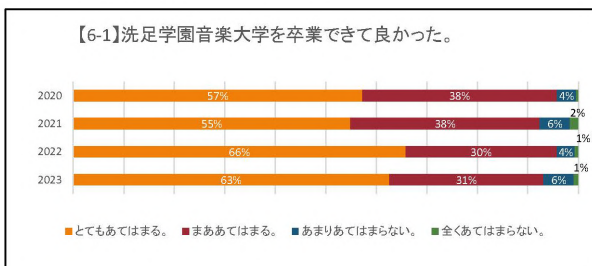
・全体的に、「とてもあてはまる」と強く成長を実感する学生に多少変化があるものの、「まああてはまる」を含めた合計に変化はない(例年94-95%程度)。曖昧な感覚で、適当に回答している可能性も否めない。それぞれの項目について具体的な例を示し、学生生活を振り返りやすくしてはどうか。

【5-5】論理的思考力に基づき～

(具体的な例:他の演奏者との調和やバランスを考えながら問題を解決することができた。一体感をつくるために、リズムの正確性を高める練習とお互いのフリース感を揃えることに集中し、表現力向上につなげることができた。)

13

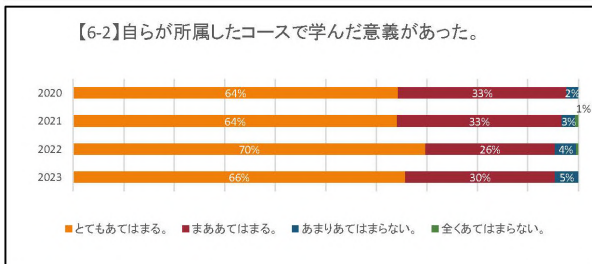
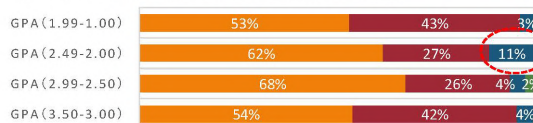
⑤大学生活全般



・【6-1】【6-2】どちらも前年から満足度が僅かに下がっているが、大きな変化は見られない。

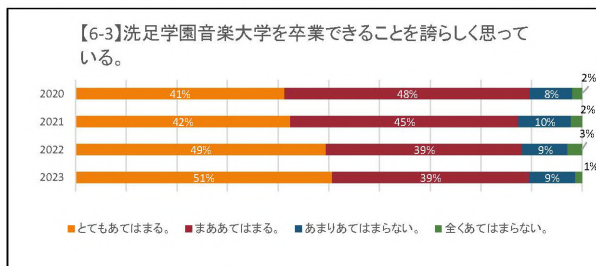
・【6-1】GPA別にみると、2.00～2.49の学生に卒業できてよかったと感じていない学生の割合が目立つ(11%)。

参考:【6-1】2023年度GPA別

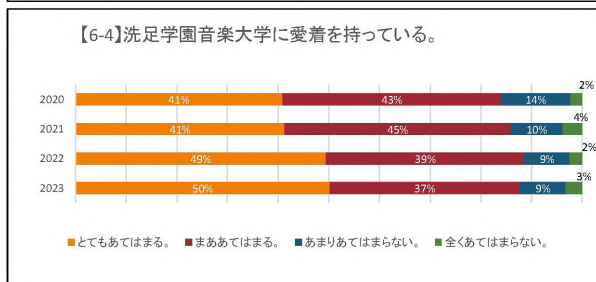


14

⑤大学生生活全般(つづき)



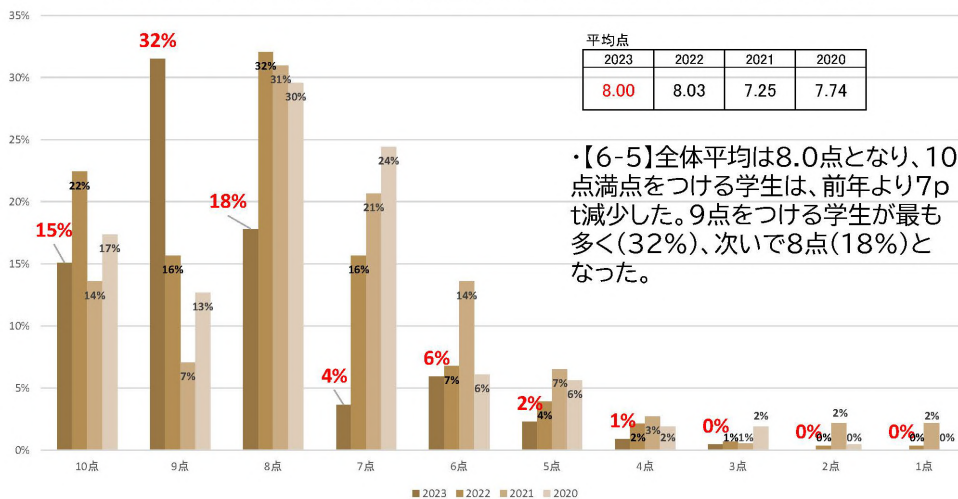
・【6-3】【6-4】どちらも「とてもあてはまる」と回答した学生の割合が僅かに増加している。一方、誇らしく思っていない、愛着を持っていない学生が毎年10%ほどいる。



15

⑥大学生生活全般

【6-5】本学における、あなたの4年間の学生生活の総合的な満足度を10点満点で評価してください。



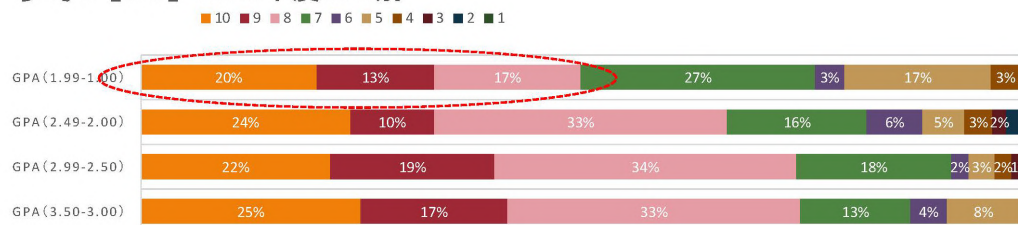
・【6-5】全体平均は8.0点となり、10点満点をつける学生は、前年より7pt減少した。9点をつける学生が最も多く(32%)、次いで8点(18%)となった。

16

⑥大学生活全般(つづき)

・【6-5】GPA別にみると、8点以上をつける割合が、GPAが下がるほど低い。特にGPA2.0未満の学生は半数程度で、GPA2.0以上の学生に比べると20pt以上低い。一概に言えないが、GPAを2.0以上にできれば、満足度がかなり変わってくるようだ。

参考：【6-5】2023年度GPA別



資料4：修了時満足度調査結果

2023年度 修了時満足度調査

洗足学園音楽大学大学院

1

調査概要

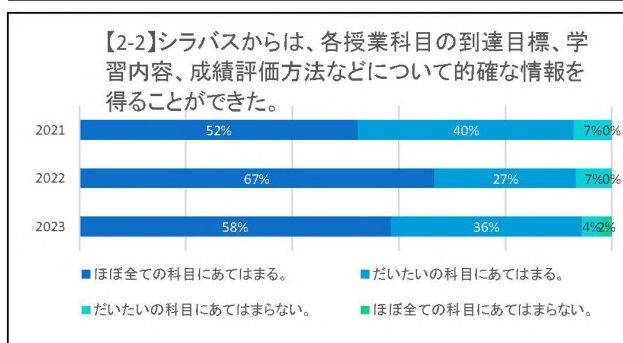
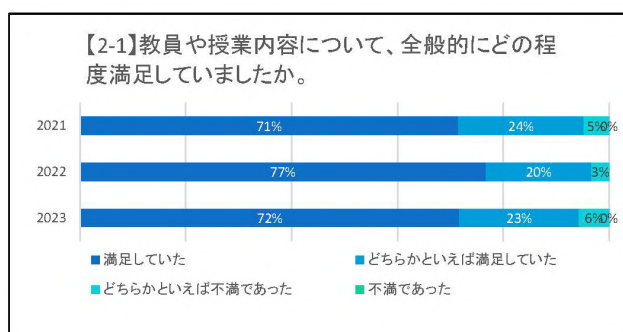
調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2023年3月修了予定の大学院2年生（全コース）
調査時期	2024年1月10日(水)～2月29日(木)
所要時間	10分弱
質問数	21問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って

2

回答率		在籍者数	回答者数	2023年度	2022年度	2021年度
作曲	CO	7	7	100%	50%	0%
音楽・音響デザイン	SC	22	10	45%	75%	48%
ピアノ	PF	15	13	87%	88%	33%
管楽器	WI	8	2	25%	43%	71%
弦楽器	SI	3	1	33%	60%	29%
打楽器	PI	5	2	40%	50%	—
電子オルガン	EO	10	8	80%	89%	50%
和楽器	WA	1	0	0%	0%	0%
声楽	VO	14	7	50%	38%	50%
音楽教育学	ME	4	3	75%	71%	100%
合計		89	53	60%	75%	49%

3

①教員や授業についての満足度



・【2-1】教員や授業について95%学生が満足している※1。GPA別にみると、不満を感じているのは、GPA2.49-2.00の学生に多く、全体の27%を占める。

※1「満足していた」「どちらかといえば満足していた」の合計

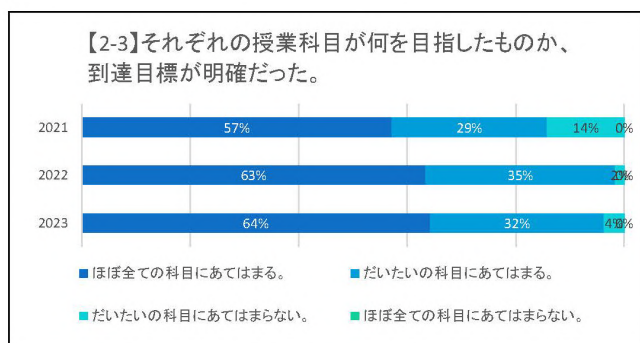
参考【2-1】2023GPA別

GPA (1.99-1.00)	100%
GPA (2.49-2.00)	64% 9% 27%
GPA (2.99-2.50)	60% 40%
GPA (3.50-3.00)	82% 18%

・【2-2】【2-3】シラバスの理解度は年度によりバラツキがあるもの、殆どの学生が適格な情報を得ているようだ。

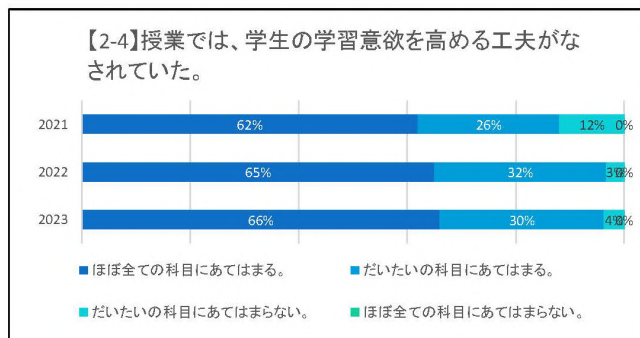
4

①教員や授業についての満足度(つづき)

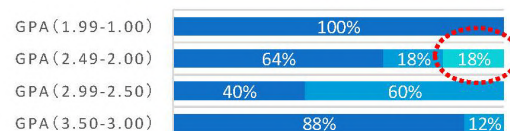


・【2-4】学習意欲を高める工夫がなされていた※2と回答する学生は前年並みとなり(96%)、GPA別にみると、「あてはまらない」と回答した学生がGPA2.49-2.00に目立つ(18%)。

※2「ほぼ全ての科目にあてはまる」「だいたい科目にあてはまる」の合計

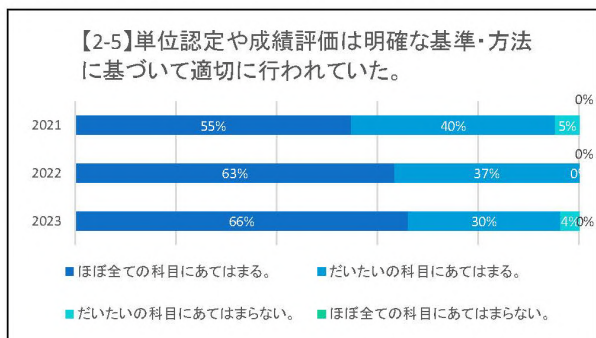


参考【2-4】2023GPA別

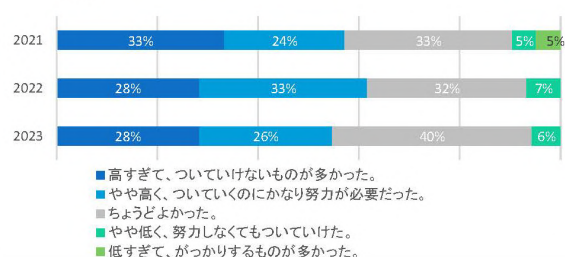


5

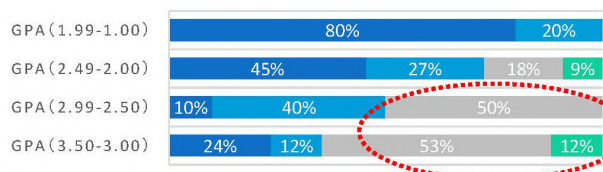
①教員や授業についての満足度(つづき)



【2-6】授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。



参考【2-6】2023GPA別



・【2-6】授業のレベルについては評価が分散している。GPA別にみると、2.0以上に低い※3と回答した学生が多く、2.5以上になると、半数以上の学生が低い、低すぎると回答している。

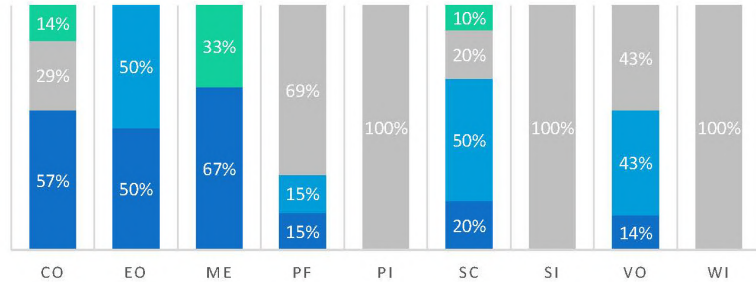
※3「やや低く努力しなくてもついていった」「低すぎてがっかりするものが多かった」の合計

6

①教員や授業についての満足度(つづき)

参考【2-6】2023コース別

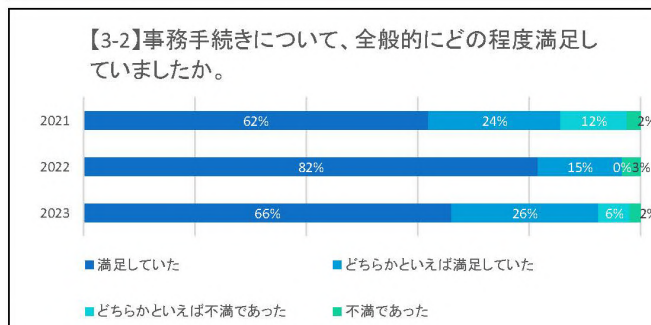
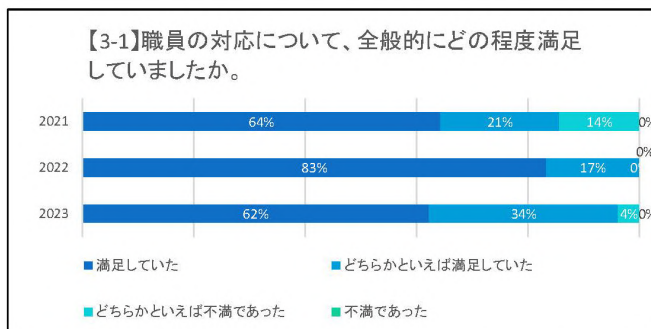
- 低すぎて、がっかりするものが多かった
- やや低く、努力しなくてもついていけた
- ちょうどよかった
- やや高く、ついていくのにかなり努力が必要だった



選択肢	CO	EO	ME	PF	PI	SC	SI	VO	WI	総計
高すぎて、ついていけないものが多かった	4	4	2	2	0	2	0	1	0	15
やや高く、ついていくのにかなり努力が必要だった	0	4	0	2	0	5	0	3	0	14
ちょうどよかった	2	0	0	9	2	2	1	3	2	21
やや低く、努力しなくてもついていけた	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
低すぎて、がっかりするものが多かった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学生数合計(人)	7	8	3	13	2	10	1	7	2	53

7

②大学事務局についての満足度



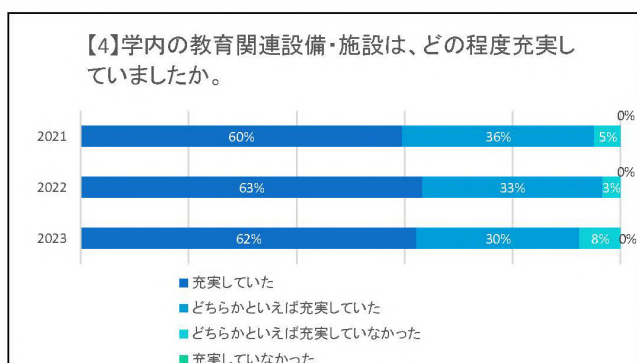
・【3-1】【3-2】職員の対応については9割以上の学生が満足しているが、「満足していた」と高く評価する学生が前年より減少した(前年比-21pt)。GPA別にみると、学部とは反対に、GPAが高い(2.99-2.50)学生の評価が低いようだ。

参考【3-1】2023GPA別



8

③設備・施設についての満足度



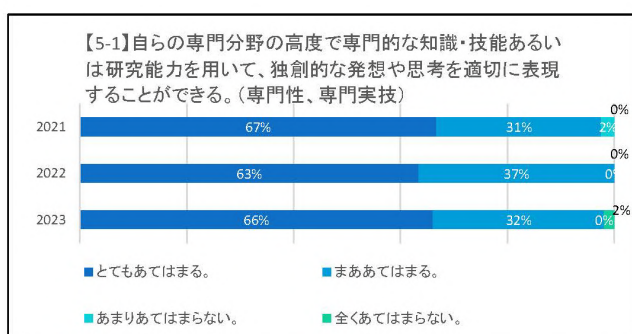
・【4】設備・施設についての満足度は例年並みとなり、9割以上の学生が充実していると回答している。GPA別にみると、学部と同様に、GPAが高くなるほど充実感が薄くなるようだ。

参考【4】2023GPA別

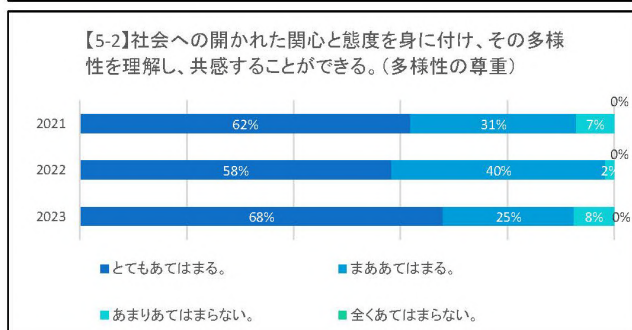
GPA (1.99-1.00)	100%		
GPA (2.49-2.00)	64%	27%	9%
GPA (2.99-2.50)	45%	45%	10%
GPA (3.50-3.00)	71%	24%	6%

9

④2年間の学修成果について



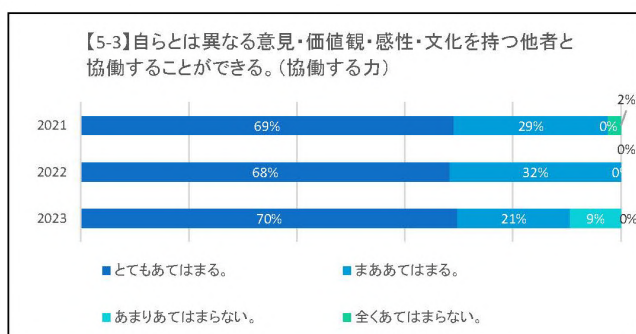
・【5-1】専門性について、「とてもあてはまる」と回答した学生が前年より3pt高くなり、66%となった。



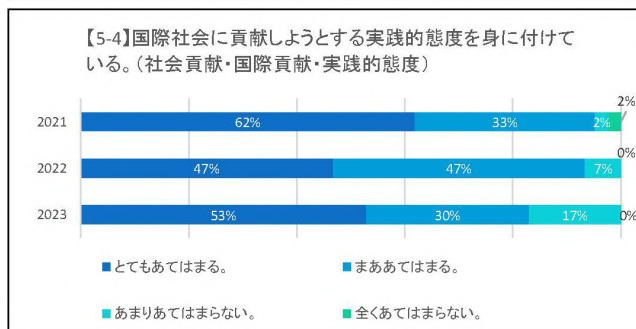
・【5-2】多様性の尊重については、前年より10pt高くなり68%となった。ディプロマポリシーの各項目の中では最も伸びた。

10

④2年間の学修成果について(つづき)



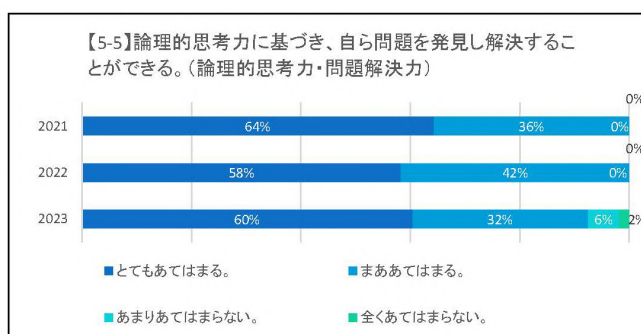
・【5-3】協働する力について、70%の学生が「とてもあてはまる」と回答しており、学部同様、ディプロマポリシーに掲げる6つの学修成果の中では最も高い。



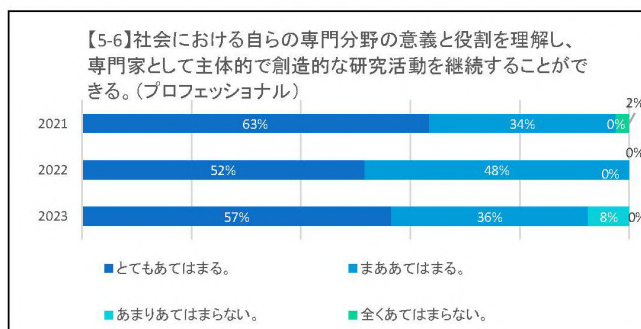
・【5-4】社会貢献、国際貢献、実践的態度については、あてはまる※4と回答する学生の割合が減少している。

※4「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計

④2年間の学修成果について(つづき)

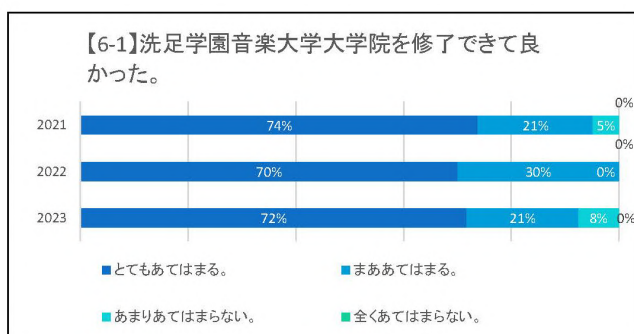


・【5-5】論理的思考力・問題解決力について、92%の学生があてはまる※4と回答している。「とてもあてはまる」と強く実感する学生が前年より2pt減り、60%となった。



・【5-6】プロフェッショナルについて、93%の学生があてはまる※4と回答している。「とてもあてはまる」と強く実感する学生が前年より5pt増え、57%となった。

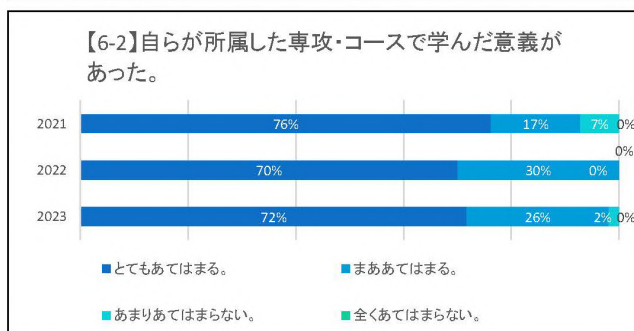
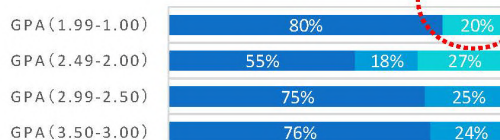
⑤大学生活全般について



・【6-1】【6-2】どちらも前年より満足度が僅かに下がっているが、大きな変化は見られない。

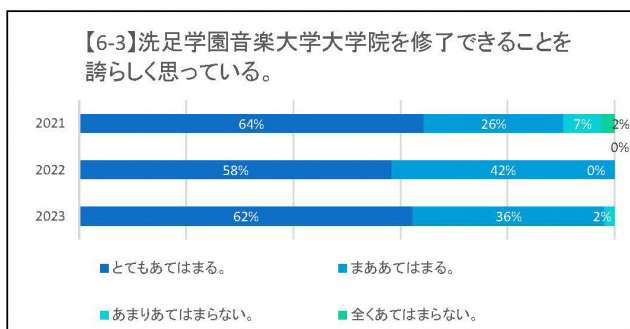
・【6-1】GPA別にみると、GPAが低いほど、修了できてよかったと感じていない学生の割合が目立つ。

参考【6-1】2023GPA

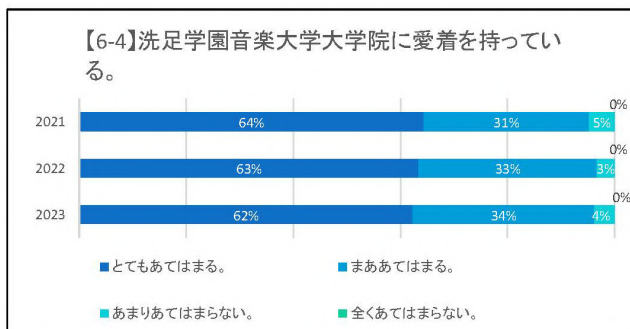


13

⑤大学生活全般について(つづき)



・【6-3】修了を誇らしく思う院生は98%おり、「とてもあてはまる」と強く感じる学生は前年より4pt増えた。

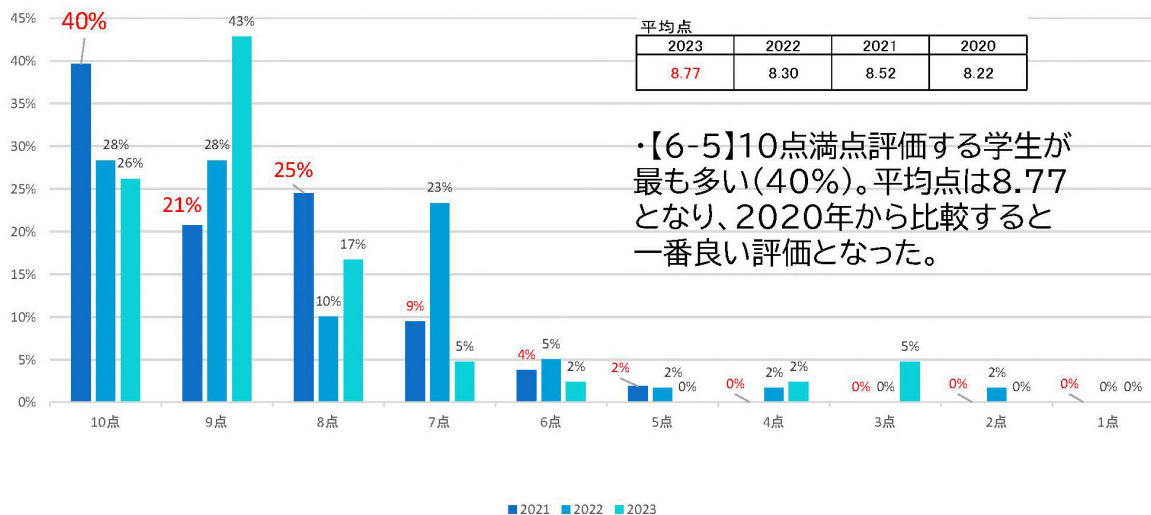


・【6-4】本学に愛着を感じる院生は96%おり、例年並みとなった。

14

⑤大学生活全般について(つづき)

【6-5】本学における、あなたの2年間の大学院生生活の総合的な満足度を10点満点で評価してください。

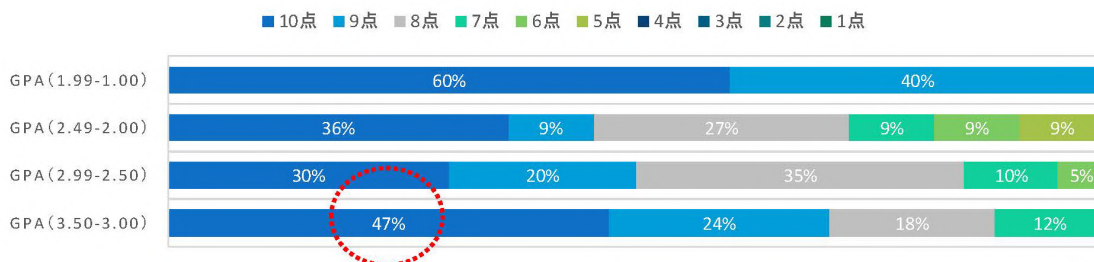


15

⑤大学生活全般について(つづき)

・【6-5】GPA別にみると、2.0未満の学生で、8点以下をつけた学生はいない。また、2.0以上の学生においては、GPAが高くなるほど、8点以上をつけるが学生の割合が多い。特に、10点満点をつける学生が3.00以上の学生に多く(47%)、3.00以上の学生の満足度が高く、授業のレベルでは低いと感じているものの、充実感を得ていることが伺える。

参考【6-5】2023コース別



16